

平成26年度
第2回 区政モニターアンケート
調査報告書

《スポーツで住み続けたいまちづくりに向けて》



足立区政策経営部広報室区政情報課

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査の時期	2
3 今回の区政モニター数、回答者数	2
4 回答者の構成	2
5 集計・表示方法	3
第2章 調査結果の分析および考察	4
1 設問体系	5
2 設問の回答概要（上位回答率）	6
3 調査結果の考察・今後の方向性	8
4 設問別集計・考察	10
【運動・スポーツ活動の現状】	
（1）運動・スポーツの実施頻度	10
（2）この1年間に行った主な運動・スポーツ	11
（3）この1年間に運動・スポーツをほとんど行わなかった理由	13
（4）今後行いたい運動・スポーツ	14
（5）この1年間の地域で行われた運動やスポーツを行う機会への参加有無	15
（6）運動・スポーツを行う機会に参加した理由	16
（7）運動・スポーツを行う機会に参加しなかった理由	17
【運動・スポーツに関する期待や要望】	
（8）健康維持・増進のために最も効果的と思うこと	18
（9）運動・スポーツに期待する効果	19
（10）運動・スポーツをしたいと思う機会や場所	20
（11）運動・スポーツのボランティア活動としてできること	21
（12）運動・スポーツに関するボランティアをするために重要なこと	22
（13）運動・スポーツに関する情報について希望する内容	23
（14）区の運営するスポーツ施設についての要望	24
（15）高齢者スポーツ施設使用料の免除制度についての考え	25
（16）区の行う生涯スポーツの振興について力を入れてほしいこと	26
【2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会】	
（17）2020年東京オリンピック・パラリンピックの関心度	28
（18）2020年東京オリンピック・パラリンピックでのボランティア活動の意向	29
（19）2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて区の実施に期待すること	30
【自由意見】	
（20）自由意見	32
■ 使用した調査票・回答比率	36

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

足立区では、平成18年度に実施した区政モニターおよび世論調査をもとに、子どもの体力向上や成人の健康体力づくり等を重点施策とした「第二次足立区生涯スポーツ振興計画」(平成21年度)を策定し、生涯スポーツの推進に取り組んでまいりました。

その結果、ここ3年間で子どもの体力は、スポーツ推進委員による小学校体力状況調査および指導により、長座体前屈や反復横とびなど、握力以外の種目が全学年で上昇しています。また、区が推進している「パークで筋トレ」事業は、昨年度延べ参加者数が1万人を超えるなど、身近なところでお金をかけずに健康づくりを楽しむ区民が増えています。スポーツ推進委員や指定管理者、総合型地域クラブ等と連携したこうした取り組みにより、区が目指す生涯スポーツの推進に着実な成果が現れてきています。

今後は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定に伴い、区独自のコンセプトやレガシーを検討し、運動・スポーツを取り巻く様々な課題を解決する契機にしたいと考えています。

そこで、運動・スポーツに関する区民ニーズを的確に把握し、平成29年度に策定を予定している「第三次足立区生涯スポーツ振興計画」の各施策に反映させ、生涯スポーツのさらなる発展と振興をはかる目的で、区政に関心の深い区政モニターの皆様へのアンケート調査を実施しました。

2 調査の時期

平成27年2月28日(土)～3月13日(金)

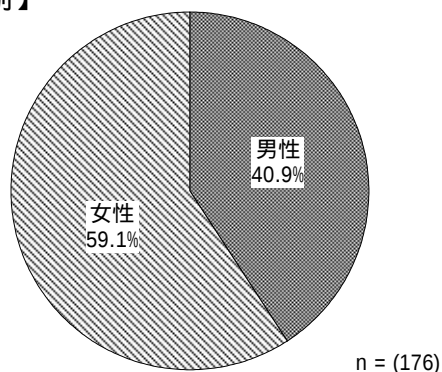
3 今回の区政モニター数、回答者数

区政モニター数 198人 回答者 176人(回答率88.9%)
〔内訳〕 郵便回答：110人
インターネット回答：66人

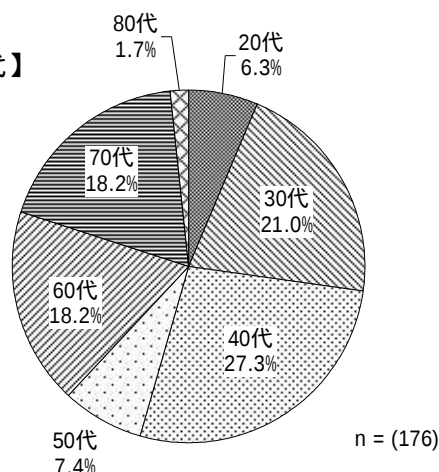
4 回答者の構成

(1) 性別、年代別割合(全体)

【性別】



【年代】



(2) 地域ブロック別

ブロック	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック	5ブロック
人数	27	8	6	14	20

ブロック	6ブロック	7ブロック	8ブロック	9ブロック	10ブロック
人数	25	16	13	7	16

ブロック	11ブロック	12ブロック	13ブロック	計
人数	10	4	10	176

ブロック区分図

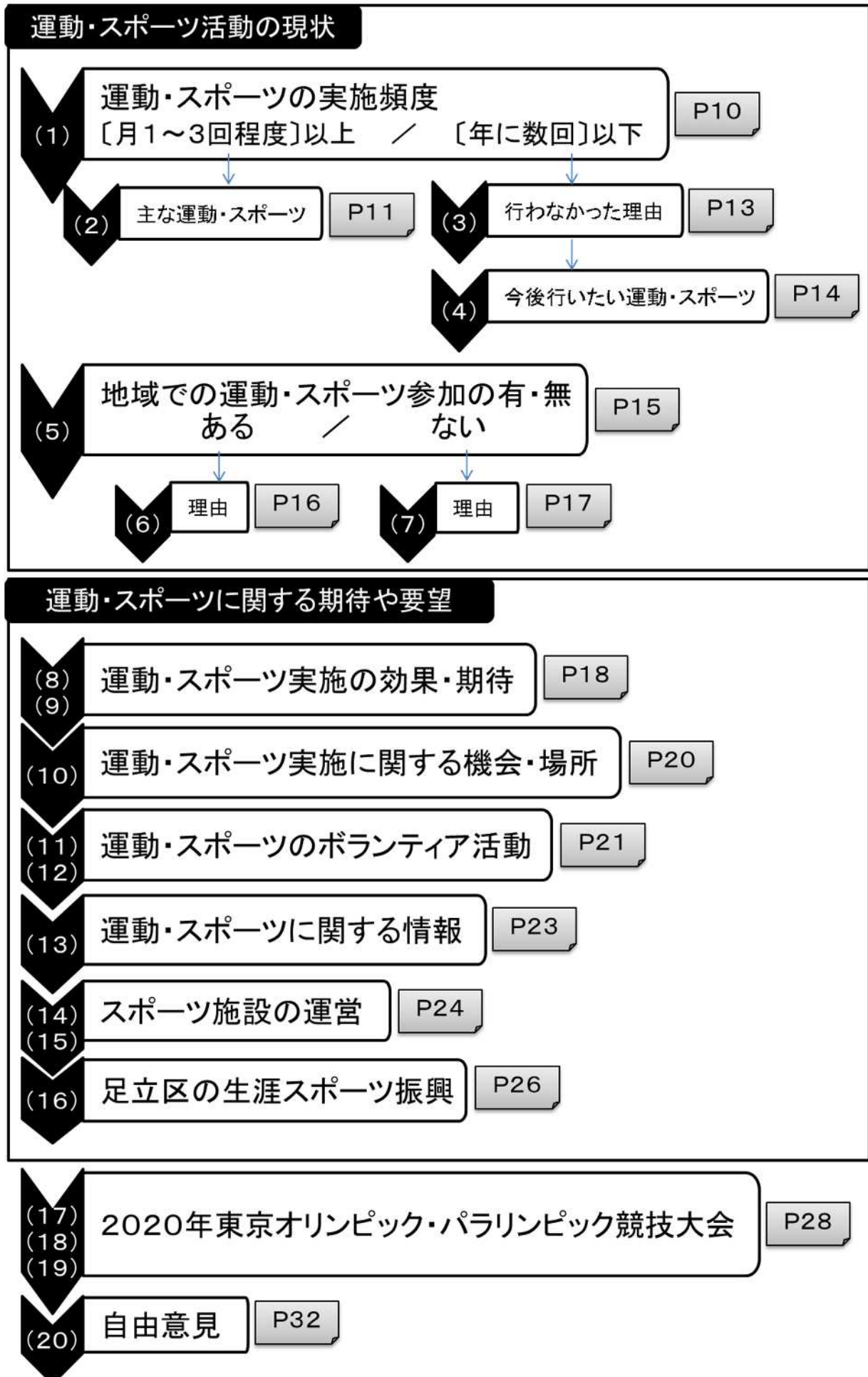
5 集計・表示方法

回答比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えます。また、原則として小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで示したもので、比率の合計が100%に満たない、または上回ることがあります。

また、記述回答は、原文の趣旨を損なわないように要約し掲載しています。

第 2 章 調査結果の分析および考察

1 設問体系



2 各設問の回答概要（上位回答率）

【運動・スポーツ活動の現状】

（１）運動・スポーツの実施頻度

「30分以上の運動を週2回以上」23.3%（41人）

「週2回以上（時間は問わない）」15.3%（27人）

「週1回程度（時間は問わない）」14.8%（26人）

（２）この1年間に行った主な運動・スポーツ（複数回答）

「ウォーキング」51.4%（57人）

「健康体操（エアロビクス・リズム体操など）」30.6%（34人）

（３）この1年間に運動・スポーツをほとんど行わなかった理由（複数回答）

「仕事や家事で疲れている」48.4%（31人）

「忙しくて時間がない」42.2%（27人）

（４）今後行いたい運動・スポーツ（複数回答）

「ウォーキング」29.7%（19人）

「健康体操（エアロビクス・リズム体操など）」28.1%（18人）

（５）この1年間の地域で行われた運動やスポーツを行う機会への参加有無

「ない（参加していない）」65.9%（116人）

「ある（参加した）」29.5%（52人）

（６）運動・スポーツを行う機会に参加した理由（複数回答）

「健康・体力づくりのため」75.0%（39人）

「楽しみ、気晴らし、ストレス解消になる」61.5%（32人）

（７）運動・スポーツを行う機会に参加しなかった理由（複数回答）

「忙しくて時間がないから」40.5%（47人）

【運動・スポーツに関する期待や要望】

（８）健康維持・増進のために最も効果的と思うこと（複数回答）

「体を動かすこと（運動・スポーツ、体操・散歩など）」89.8%（158人）

「バランスのとれた食事（新鮮野菜をとる・食品添加物を避けるなど）」86.4%（152人）

（９）運動・スポーツに期待する効果（複数回答）

「健康・体力づくり」90.9%（160人）

「楽しみ、気晴らし、ストレス解消になる」42.0%（74人）

- (10) 運動・スポーツをしたいと思う機会や場所 (複数回答)
- 「区のスポーツ施設を利用して運動したい」53.4% (94人)
 - 「自然の中で、運動やスポーツをしたい」48.9% (86人)
- (11) 運動・スポーツのボランティア活動としてできること (複数回答)
- 「イベント大会、スポーツ教室などの運営補助」39.2% (69人)
 - 「学校や公園、運動場などで遊ぶ子どもたちの見守り」35.2% (62人)
- (12) 運動・スポーツに関するボランティアをするために重要なこと (複数回答)
- 「気軽に参加できる機会の充実」65.3% (115人)
 - 「ボランティア情報の入手しやすさ」57.4% (101人)
- (13) 運動・スポーツに関する情報について希望する内容 (複数回答)
- 「健康や体力の増進に関するもの」60.2% (106人)
 - 「スポーツ施設の利用案内」42.0% (74人)
- (14) 区の運営するスポーツ施設についての要望 (複数回答)
- 「利用料金の引き下げ」39.2% (69人)
 - 「利用時間の拡大 (早朝・夜間・年始年末)」34.1% (60人)
- (15) 高齢者スポーツ施設使用料の免除制度についての考え
- 「現行のまま継続するべき」35.2% (62人)
 - 「半額など一部を負担するべき」23.3% (41人)
- (16) 区で行う生涯スポーツの振興について力を入れてほしいこと (複数回答)
- 「子どもの体力向上や居場所づくり、青少年の健全育成」37.0% (65人)
 - 「スポーツ体験、イベント・教室の開催」35.2% (62人)

【2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会】

- (17) 2020年東京オリンピック・パラリンピックの関心度
- 「非常に関心がある」43.8% (77人)
 - 「やや関心がある」34.1% (60人)
- (18) 2020年東京オリンピック・パラリンピックでのボランティア活動の意向
- 「機会があれば参加したい気持ちがある」44.9% (79人)
- (19) 2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて区の実施に期待すること (複数回答)
- 「足立区内への観光客の増加」50.0% (88人)
 - 「会場に応援に行きたい」42.0% (74人)
- (20) 自由意見は、32～35ページに掲載しています。

3 調査結果の考察・今後の方向性

担当所管 スポーツ振興課

アンケート項目を、【運動・スポーツ活動の現状】【運動・スポーツに関する期待や要望】【2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会】【自由意見】の4つのカテゴリーに分類して考察しました（次項参照）。

【運動・スポーツ活動の現状】

5割以上の区民が週1回以上の運動・スポーツを実施しており、ウォーキングや健康体操など、一人でも気軽に参加できる運動・スポーツに取り組む傾向が高まっています。また、運動・スポーツに取り組まない理由は、「仕事や家事で疲れている」「忙しい」で大半を占めています。

【今後の方向性】

- ★ だれもが気軽に運動・スポーツができる環境を、さらに充実させていきます。
- ★ 運動・スポーツを必要とする区民に対し、体育協会やスポーツ推進委員会、地域団体等と協力・連携しながら、的確な情報発信を強化していきます。
- ★ 運動・スポーツに意欲があっても実践できない方に対して、効果的な対策を検討していきます。

【運動・スポーツに関する期待や要望】

9割近くの区民が健康・体力づくりに興味・関心があり、5割の区民が区内のスポーツ施設や公園の利用を期待しています。また、子どもの体力向上や高齢者の健康づくり、スポーツイベント・教室の開催など、区がこれまで推進してきたスポーツ振興の各施策について、引き続き期待が寄せられています。さらに、スポーツ施設の整備・拡充、サービス向上やボランティア活動を気軽に取り組める環境づくりに対し、要望が多く挙げられています。

【今後の方向性】

- ★ 健康増進や体力向上事業を引き続き展開し、健康寿命の伸長を目指します。
- ★ 子どもの体力向上や居場所づくりなど、運動・スポーツを通じた青少年の健全育成を、さらに推進していきます。
- ★ 各スポーツ施設の指定管理者と連携し、ソフト・ハード両面での整備をさらに進めます。

【2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会】

7割以上の区民が関心を持ち、主に観光客の増加に期待を寄せていました。また、大会開催に関連したボランティア活動に意欲のある区民が6割を超えています。会場への応援や国際交流、経済効果にも期待があり、大会開催に向けた気運の高まりが感じられます。

【今後の方向性】

- ★ 関心の高いボランティアについて、活動の場や情報の提供、人材育成の支援に取り組んでいきます。
- ★ 大会開催を区内のスポーツ振興の好機と捉え、区民の健康づくりや生涯スポーツの取組みを一層進めます。
- ★ 障がい者の運動・スポーツ環境を整備し、PR等の取組みを強化します。
- ★ 大会後のレガシーに繋がる多様な施策を検討していきます。

【自由意見】

身近でだれもが気軽に使用できるスポーツ施設や、取組めるスポーツが望まれています。また、障がい者スポーツの推進やその環境整備についても、多くの意見が寄せられています。具体的には、健常者と障がい者がともにスポーツに取り組めるイベントや障がい者アスリートとのふれあい、施設のバリアフリー化などがありました。

区が実施しているスポーツ関連の事業や身近な場所で使用できる施設の情報については、必要としている方に充分伝わっていない状況があり、PRの工夫が望まれています。

【今後の方向性】

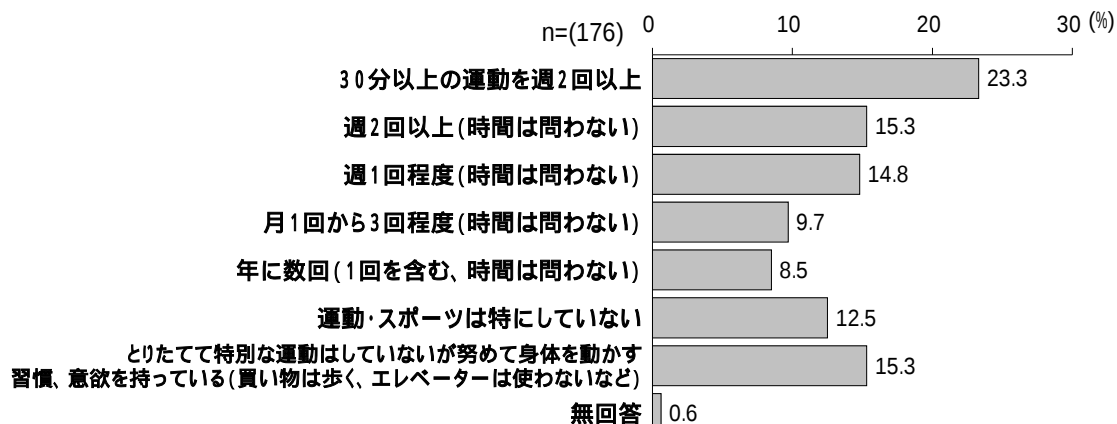
- ★ 健常者・障がい者ともに、身近な場所で気軽に運動・スポーツが楽しめる環境を整備していきます。
- ★ 運動・スポーツ全般の情報を整理し、各対象への確かな情報発信ができる環境を整備していきます。
- ★ 寄せられた意見・要望は、今後のスポーツ振興を考えていくうえで、できる限り応えていけるように努めていきます。

4 設問別集計・考察

【運動・スポーツ活動の現状】

(1) 運動・スポーツの実施頻度

問1 あなたは日頃から、散歩やウォーキングを含めてどの程度運動・スポーツを行っていますか（○は1つだけ）



【集計結果】

- 「30分以上の運動を週2回以上」(23.3%)が2割を超え、「週2回以上(時間は問わない)」(15.3%)、「週1回程度(時間は問わない)」(14.8%)が1割台半ばとなっている。
- 「運動・スポーツは特にしていない」(12.5%)が1割強となっている一方で、「特別な運動はしていないが努めて身体を動かす習慣、意欲を持っている」(15.3%)は、1割台半ばとなっている。

【分析】

- 運動・スポーツに週1回以上取組んでいる区民は53.4%を越えており、平成18年度に実施した世論調査時(26.3%)と比べ、2倍以上増加している。
- 「月1回から3回程度」「年に数回」「努めて体を動かす」を加えると、実に86.9%が運動・スポーツに関心を持っており、今後も運動・スポーツ実施率の向上について、大いに期待が持てる。

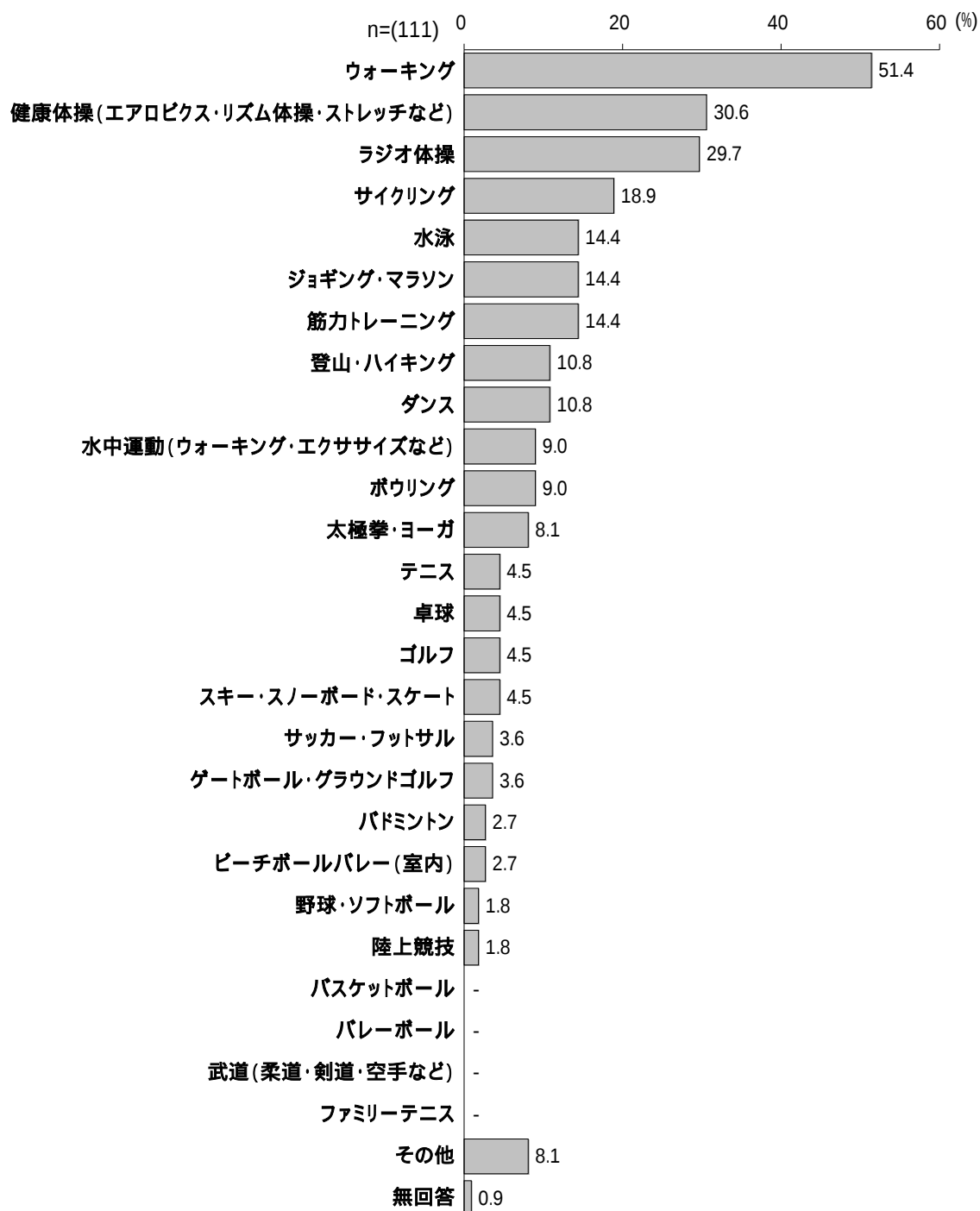
【課題・方向性】

- さらなる運動・スポーツ実施率の向上を目指すため、「パークで筋トレ」や「ウォーキング教室」などの既存事業をさらに充実させるとともに、異なるターゲットに向けた新たな種目や内容の取組みを、地域・関係団体等の協力を得ながら調査・検討していく必要がある。
- 気軽に家庭でできる運動や個別性の高い運動、インターネットの活用や民間フィットネス施設との連携など、新たな視点で運動しやすい環境づくりの取組みを進めていく。

(2) この1年間に行った主な運動・スポーツ

問1で「1. 30分以上の運動を週2回以上」から「4. 月1回から3回程度」のいずれかに○を付けた方に

問1-1 あなたがこの1年間に行った主な運動・スポーツは何ですか(○はあてはまるものすべて)。



【集計結果】

- 「ウォーキング」(51.4%) が5割強で最も高い。
- 「健康体操(エアロビクス・リズム体操・ストレッチなど)」(30.6%)、「ラジオ体操」(29.7%) が3割前後となっている。

【分析】

- 気軽に安心して取組めるウォーキングの人気の非常に高くなっている。
- 次いで健康体操、ラジオ体操、サイクリング、筋トレなど、一人で気軽に実践できる有酸素系運動の実施率が高い。
- 野球・ソフトボールや陸上競技、バドミントン、ビーチボールバレーなど、複数人数で行う競技系スポーツのポイントは低くなっている。

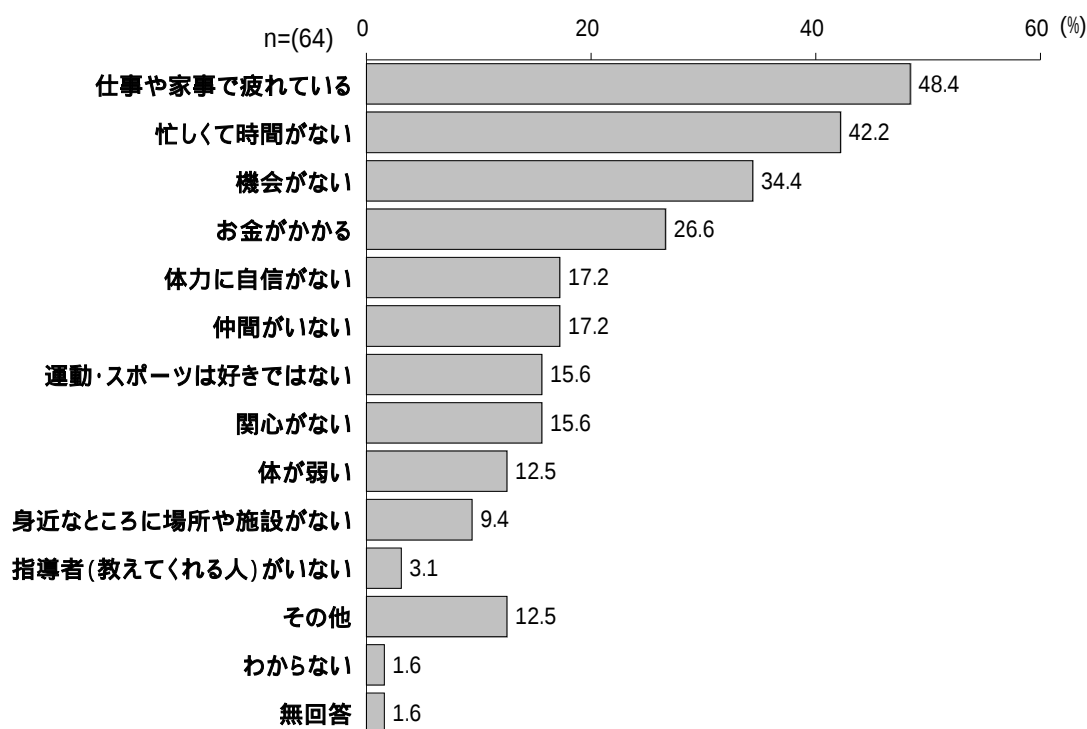
【課題・方向性】

- 身近な場所で気軽に運動できる「パークで筋トレ」や「ウォーキング教室」等の案内本である「あだち元気本」を、各スポーツ施設や地域包括支援センターに加えて、区内の高齢者世帯にも配布するなど、手軽に運動ができる機会の情報提供をさらに強化していく。
- 競技系スポーツの実施率向上に向けては、体育協会をはじめとする関係団体とのさらなる連携・協力体制を強化していくことが必要となる。
- 体力測定や運動相談などを各スポーツ教室に取り入れ、日頃の運動・スポーツによる効果を客観的に知る機会の創出を検討していく。

(3) この1年間に運動・スポーツをほとんど行わなかった理由

問1で「5.年に数回」、「6.運動・スポーツは特にしていない」または「7.努めて身体を動かす習慣、意欲を持っている」とお答えの方は、次の問1-2、問1-3について、お答えください。

問1-2 あなたが、この1年間に運動・スポーツをほとんど行わなかった理由は何ですか（○はあてはまるものすべて）。



【集計結果】

- 「仕事や家事で疲れている」(48.4%) が5割弱で最も高い。
- 「忙しくて時間がない」(42.2%) が4割強、次いで、「機会がない」(34.4%) が3割台半ば、「お金がかかる」(26.6%) が2割台半ばとなっている。

【分析】

- 社会的な環境や立場、生活面などの様々な理由により、意欲を持っていたとしても運動・スポーツに取組めない方が多いと想定できる。
- 「身近に施設がない」、「指導者がいない」はポイントが低かった。

【課題・方向性】

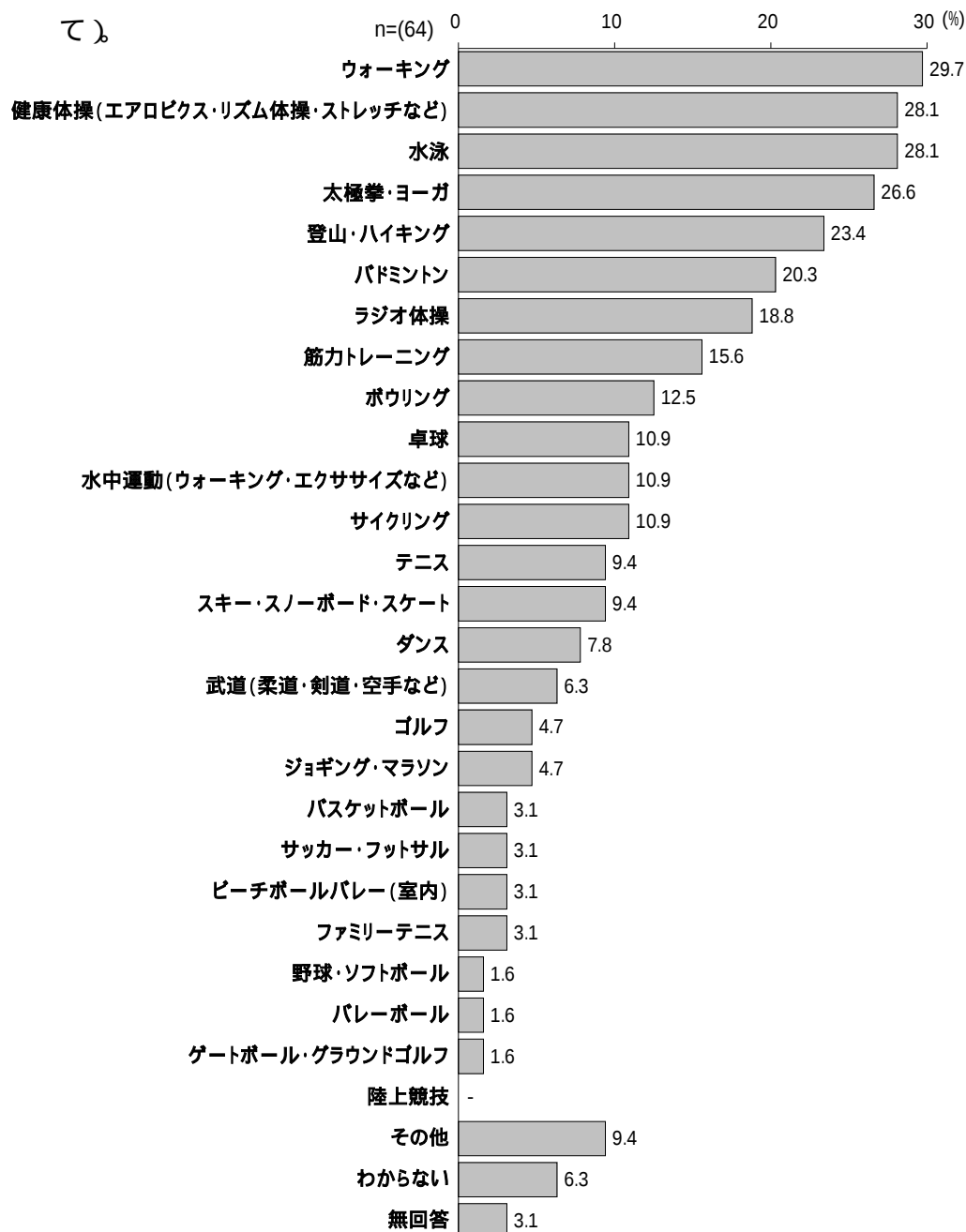
- 運動・スポーツから遠ざかっている方に興味を持ってもらうため、ストレスを発散できる、自分に合った運動ができる、仲間ができる、楽しい時間が作れるなど、運動・スポーツの効果や健康づくりの必要性を広く普及・PRしていく。
- 「するスポーツ」に限らず、「観るスポーツ」、「ささえるスポーツ」も合わせた多角的な視点で、運動・スポーツへの関心や取り組むきっかけを作っていくために、スポーツイベントや各スポーツ教室の情報提供を、継続して実施・強化していく必

要がある。

(4) 今後行いたい運動・スポーツ

問1で「5.年に数回」、「6.運動・スポーツは特にしていない」または「7.努めて身体を動かす習慣、意欲を持っている」とお答えの方は、次の問1-2、問1-3について、お答えください。

問1-3 あなたが、今後行いたい運動・スポーツは何ですか（○はあてはまるものすべて）



【集計結果】

- 「ウォーキング」(29.7%)、「健康体操(エアロビクス・リズム体操・ストレッチなど)」、「水泳」(ともに28.1%)の3項目が3割近くで高くなっている。
- 「太極拳・ヨガ」(26.6%)、「登山・ハイキング」(23.4%)、「バドミントン」(20.3%)が2割台となっている。

【分析】

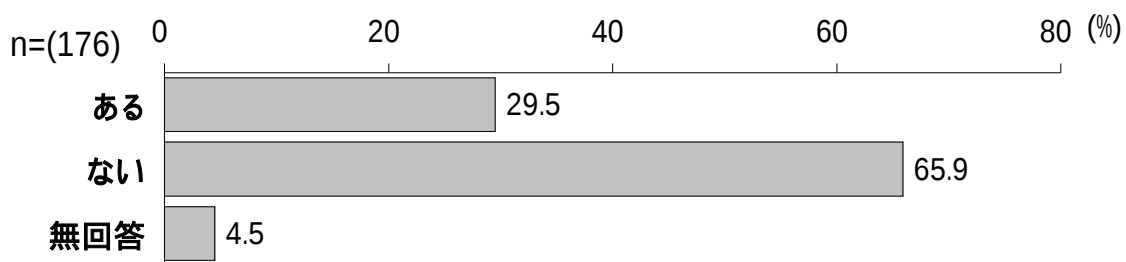
- 上位5種目は、特別な道具やお金をかけなくても気軽にできるため、だれもが取り組みやすい運動・スポーツである。
- サッカーやバスケットボール、バレーボールなどの競技スポーツは、技術や経験、場所、用具、仲間、チーム性の要素が加わるため、ポイントは低くなっている。

【課題・方向性】

- 様々な運動・スポーツの紹介や体験会を実施している「スポーツカーニバル」を、体育協会やスポーツ推進委員会、総合型地域クラブ、各スポーツ施設の指定管理者等とさらに連携・協働し、家族や仲間で気軽に出来るスポーツやマイナースポーツの無料体験会など、自分にあった運動・スポーツを見つけてもらう機会や情報を、積極的に提供していく。
- 通年で実施している各スポーツ教室や健康づくり事業については、区広報やHP・SNS、町会・自治会への周知など、地域コミュニティの特性を活かしながら、引き続きお知らせしていく。

(5) この1年間の地域で行われた運動やスポーツを行う機会への参加有無

問4 あなたは、この1年間に、地域で行われた運動やスポーツを行う機会に参加しましたか（○は1つだけ）



【集計結果】

- 「ある（参加した）」（29.5％）が3割近い。
- 「ない（参加していない）」（65.9％）が6割台半ばとなっている。

【分析】

- 地域で行われている、区や総合型地域クラブ、町会・自治会、青少年対策地区委員会、青少年団体連合協議会等が主催するスポーツ大会・イベントは、区民の暮らしに根付いた地域性が豊かなスポーツ振興として推進されている。
- スポーツ大会やイベントの実施状況、参加への意識など、地域ごとにそれぞれ異なった特性があると想定される。

【課題・方向性】

- 町会・自治会や地域団体、総合型地域クラブ、体育協会等による情報提供を促進し、

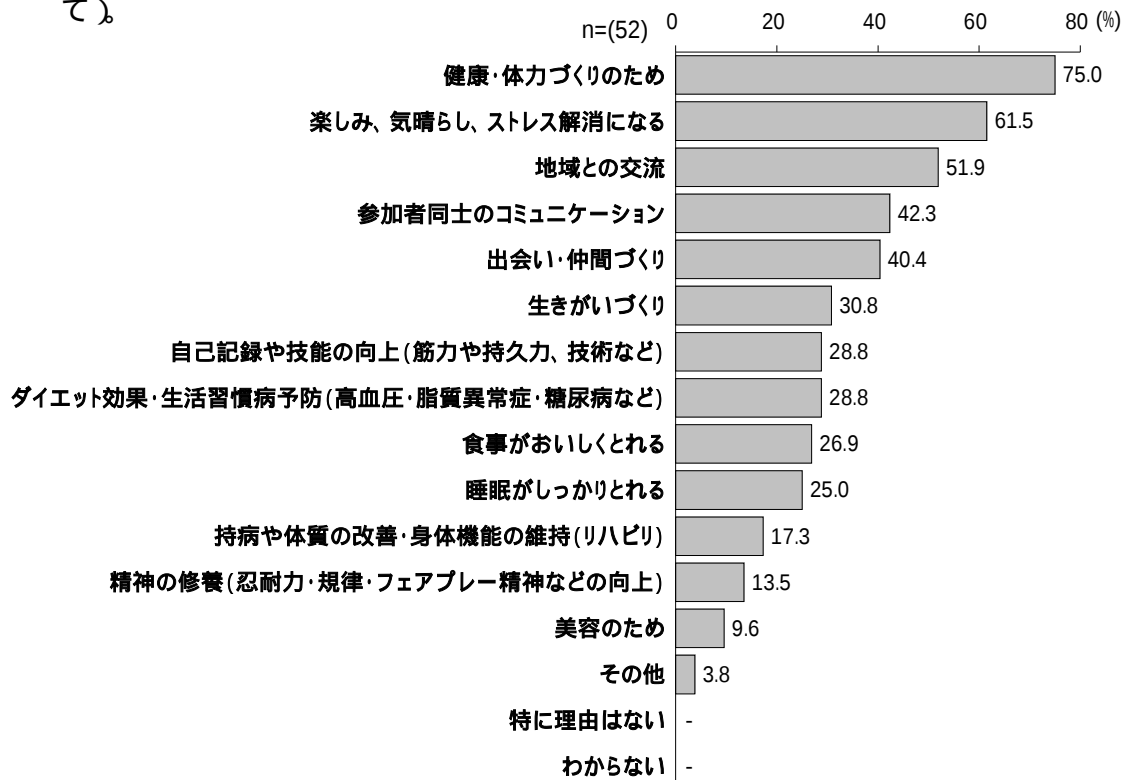
運動やスポーツへ参加する機会を増やすための支援をしていく。

- 地域の運動・スポーツに参加することで地域との繋がりや仲間づくりに繋がることの大切さを、地域と連携・協働し発信し続けていく。

(6) 運動・スポーツを行う機会に参加した理由

問4で「1. ある」とお答えの方に

問4 - 1 運動・スポーツを行う機会に参加した理由は何ですか（○はあてはまるものすべて）。



【集計結果】

- 「健康・体力づくりのため」(75.0%) が7割台半ばで最も高い。
- 「楽しみ、気晴らし、ストレス解消になる」(61.5%) が6割強、「地域との交流」(51.9%) が5割強、「参加者同士のコミュニケーション」(42.3%)、「出会い・仲間づくり」(40.4%) が4割台となっている。

【分析】

- 地域で行われる運動やスポーツへ参加したことがある方は、運動・スポーツによる様々な効果や仲間意識、地域とのつながりなどの理解が進んでいる。
- 参加理由については、各地域の特性が強く影響していると想定される。

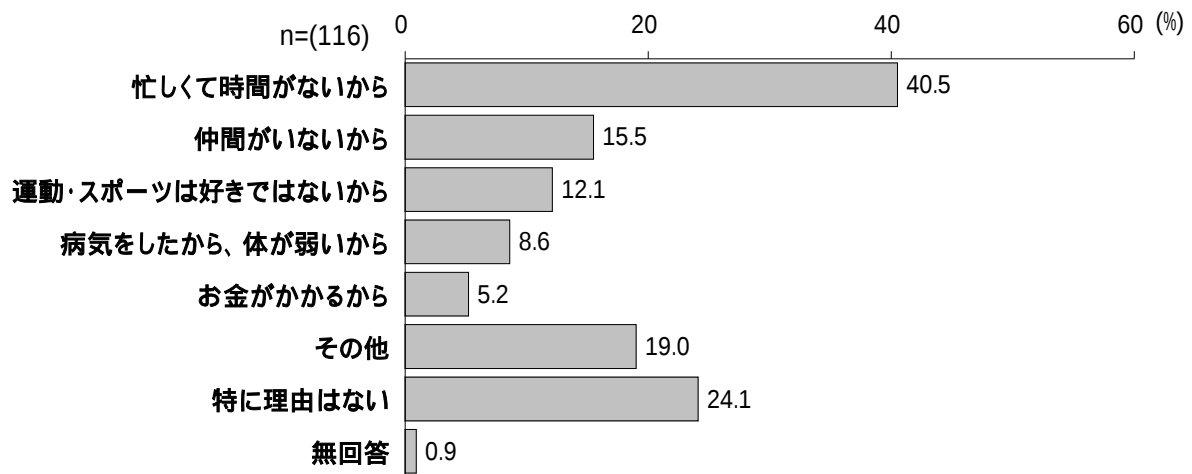
【課題・方向性】

- 各地域での運動・スポーツに参加する機会をさらに増やしていくため、まちづくりや地域との交流、仲間づくりに活かせる事業を支援・推進していく。

(7) 運動・スポーツを行う機会に参加しなかった理由

問4で「2. ない」とお答えの方に

問4 - 2 運動・スポーツを行う機会に参加しなかった理由は何ですか（○はあてはまるものすべて）



【集計結果】

- 「忙しくて時間がないから」(40.5%) が約4割で最も高い。
- 「特に理由はない」(24.1%) が2割台半ばとなっている。

【分析】

- 設問(3)の運動・スポーツをほとんど行わなかった理由と同じく、忙しくて時間がない方のポイントが高い。
- 社会的な環境や立場、生活面などの様々な理由により、運動・スポーツから遠ざかっている方が多いと想定できる。

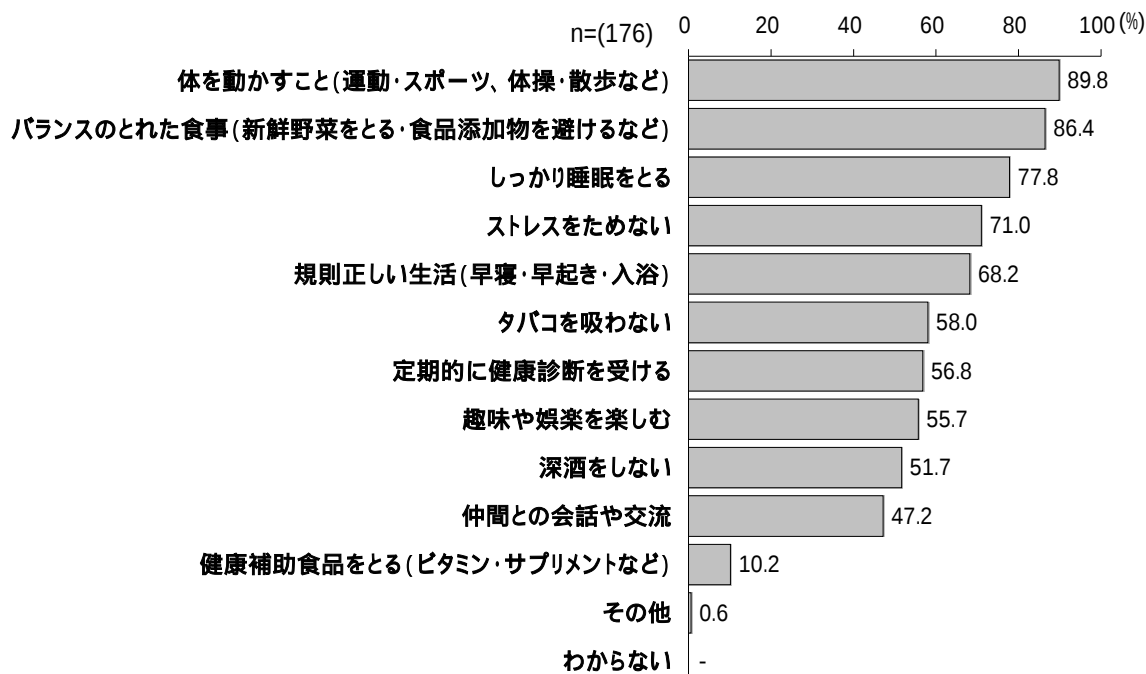
【課題・方向性】

- 地域での運動・スポーツイベントに参加することで、自身の健康づくりとともに地域交流や仲間づくりができ、身近な場所でそれが実現できるということを、積極的に継続して周知していく必要がある。
- スポーツ推進委員や町会・自治会、スポーツ施設の指定管理者等と連携し、地域の方々が参加しやすく、また参加したくなるように、参加者の声やアンケートを集め、各種地域イベントをさらに充実・支援していく。

【運動・スポーツに関する期待や要望】

(8) 健康維持・増進のために最も効果的と思うこと

問2 あなたは、健康維持・増進のために最も効果的と思うことは何ですか（○はあてはまるものすべて）。



【集計結果】

- 「体を動かすこと（運動・スポーツ、体操・散歩など）」（89.8％）が9割近くで最も高い。
- 「バランスのとれた食事（新鮮野菜をとる・食品添加物を避けるなど）」（86.4％）が8割台半ば、「しっかり睡眠をとる」（77.8％）、「ストレスをためない」（71.0％）が7割台となっている。

【分析】

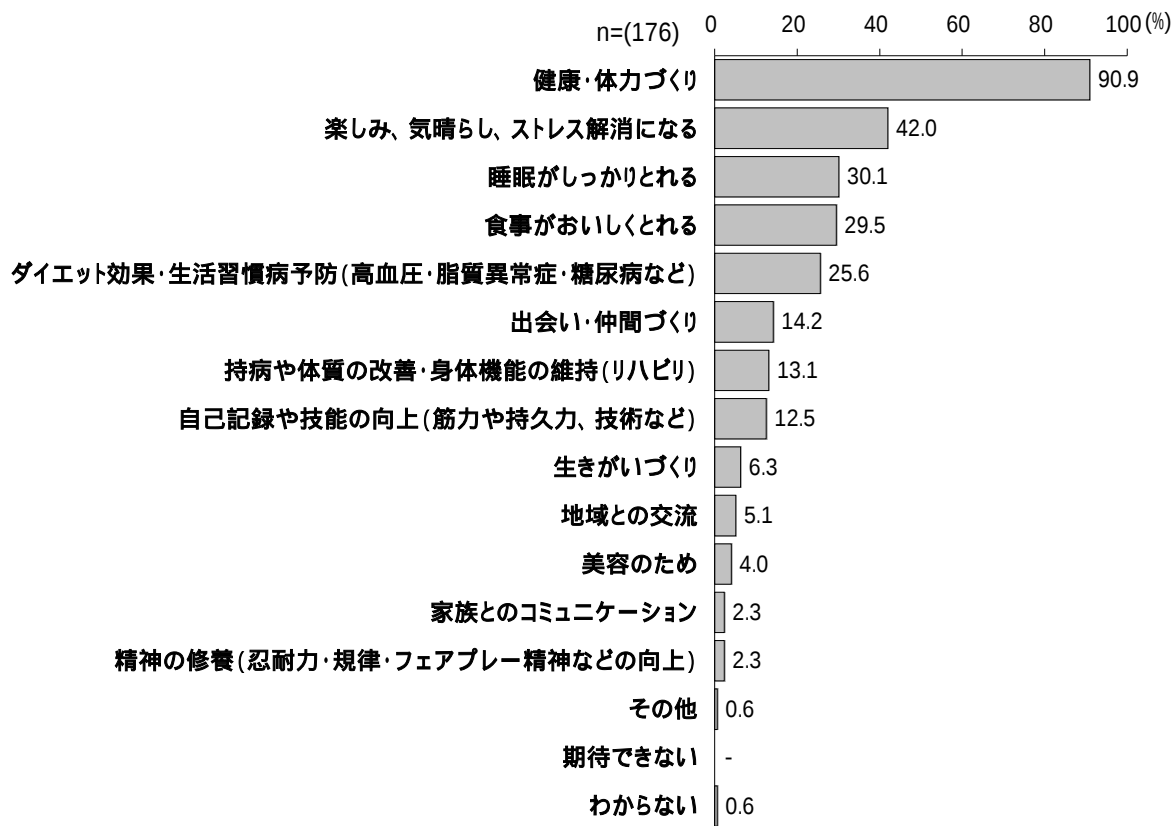
- 健康の基本3要素（食事・運動・睡眠）の理解が進み、区民の健康に対する意識が高まっている。
- 糖尿病対策やベジタベライフ、パークで筋トレなど、健康づくりの各事業における成果が、着実に現れている。

【課題・方向性】

- 健康の基本3要素（食事・運動・睡眠）の理解をさらに広めるとともに、それらを実践していく方策を増やしていく。
- 運動・スポーツを通して、生活習慣の見直しや改善、定期的な健康診断の受診を勧めることで、区民の健康づくりにつながる取組みを進めていく。
- 衛生部など関係所管と連携・協働し、スポーツイベントなどの機会に栄養士や専門指導員を派遣し、ベジタベライフの講座や健康相談の実施に取り組んでいく。

(9) 運動・スポーツに期待する効果

問3 あなたは、運動・スポーツから、どのような効果を期待しますか。運動・スポーツを行っていない方もお答えください(○は3つまで)。



【集計結果】

- 「健康・体力づくり」(90.9%)が9割を超えて特に高くなっている。
- 「楽しみ、気晴らし、ストレス解消になる」(42.0%)が4割強、「睡眠がしっかりとれる」(30.1%)、「食事がおいしくとれる」(29.5%)が3割前後、「ダイエット効果・生活習慣病予防(高血圧・脂質異常症・糖尿病など)」(25.6%)は2割台半ばとなっている。

【分析】

- 運動・スポーツに健康・体力づくりの効果を求める区民は90%を越えており、平成18年度に実施した世論調査時(52.1%)と比べ、約2倍に増加している。
- 設問(8)の健康維持・増進のために最も効果的と思うことの回答と同様、健康の基本3要素(食事・運動・睡眠)の理解が進み、区民の健康に対する意識が高まっている。

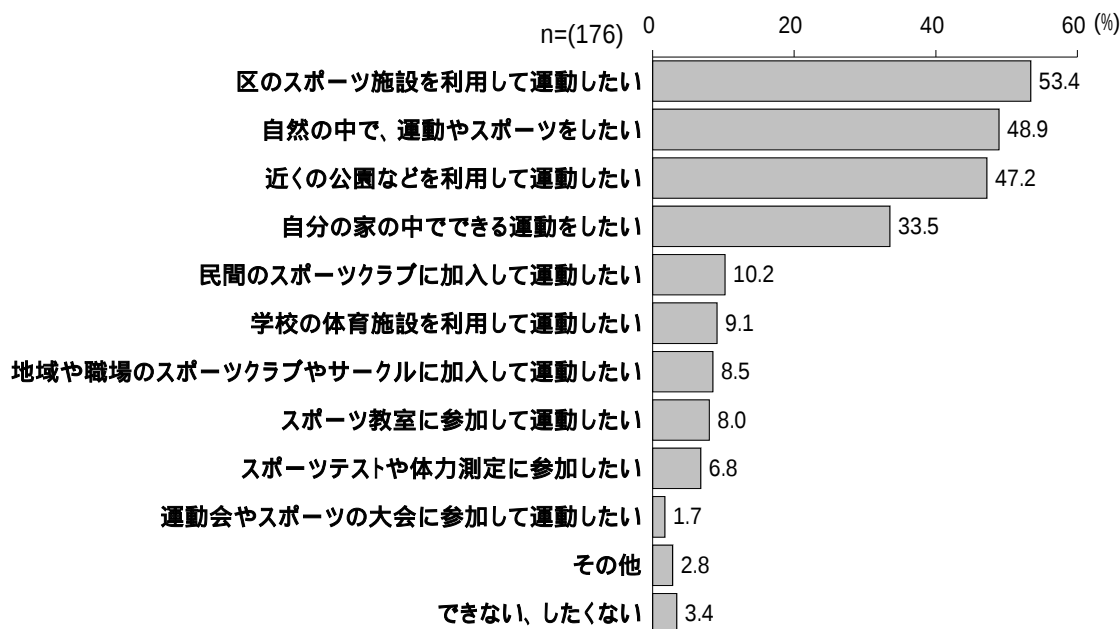
【課題・方向性】

- 適切な運動・スポーツは、健康・体力づくりや気分転換、ストレス解消、糖尿病を始めとする生活習慣病予防などに効果があることを、衛生部や福祉部など関係所管と連携・協働し、さらに周知していく。

- 運動・スポーツが仲間づくりや地域との交流などにも効果があることを、積極的に周知していくことが必要である。

(10) 運動・スポーツをしたいと思う機会や場所

問5 あなたは、どのような機会や場所で運動・スポーツをしたいと思っていますか（○は3つまで）



【集計結果】

- 「区のスポーツ施設を利用して運動したい」(53.4%) が5割を超えて最も高い。
- 「自然の中で、運動やスポーツをしたい」(48.9%)、 「近くの公園などを利用して運動したい」(47.2%) が4割台半ばを超えている。

【分析】

- 「自然の中」や「近くの公園など」、屋外で運動したい方が増えている要因として、「パークで筋トレ」や「ウォーキング教室」が区民へ定着してきていることが想定される。
- 一方で、「家の中でできる運動」をしたい区民が多いことは、意外な結果だった。
- 学校施設や地域クラブ、スポーツ教室に参加して運動したい方のポイントは低い。

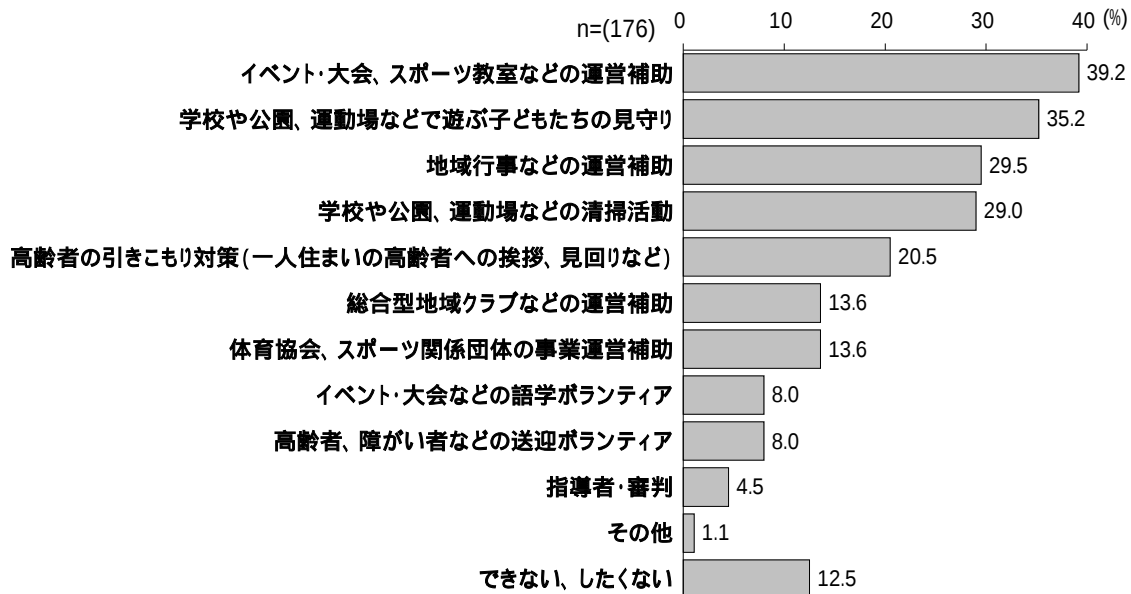
【課題・方向性】

- 身近な公園などで実施している「パークで筋トレ」や「ウォーキング教室」といった既存事業をさらに充実・拡大していくとともに、新たな対象を選定した健康づくり事業を展開していく必要がある。
- 「家の中でできる運動」については、生涯スポーツの新たな切り口として、今後調査・研究していく。
- ポイントが低かった学校施設の利用や、地域主催の運動会・スポーツ大会などについては、区が連携・協働し、案内の工夫や地域団体による情報提供を促進していく

必要がある。

(11) 運動・スポーツのボランティア活動としてできること

問6 あなたは、運動・スポーツのボランティア活動として何ができると考えていますか（○は3つまで）。



【集計結果】

- 「イベント大会、スポーツ教室などの運営補助」(39.2%)が4割近くで最も高い。
- 「学校や公園、運動場などで遊ぶ子どもたちの見守り」(35.2%)が3割台半ば、「地域行事などの運営補助」(29.5%)、「学校や公園、運動場などの清掃活動」(29.0%)が3割近くとなっている。

【分析】

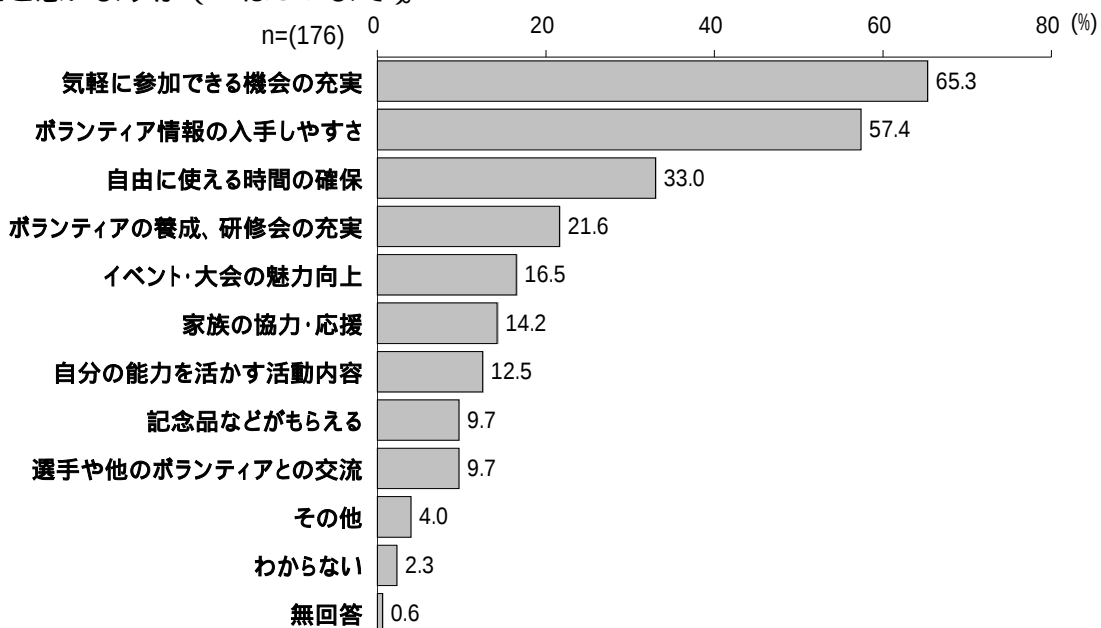
- スポーツイベントや放課後子ども教室などの普及・推進に伴い、ボランティアの意識が高まり、地域を中心としたボランティア活動が浸透してきている。
- 体育協会や総合型地域クラブの運営補助のポイントが低く、さらに指導者や審判などのポイントが低くなっている。

【課題・方向性】

- スポーツボランティアの意義や特性、メリットなどを具体的に周知し、現行の生涯スポーツボランティア制度を充実させていくとともに、登録者が活動する場を提供し、地域の人材活用や絆づくりにつなげていく必要がある。
- 関係団体やスポーツ施策面において、今後のボランティアの需要と供給について調査していく必要がある。

(12) 運動・スポーツに関するボランティアをするために重要なこと

問7 あなたは、運動・スポーツに関するボランティアをするためには、どのようなことが重要だと思いますか（○は3つまで）



【集計結果】

- 「気軽に参加できる機会の充実」(65.3%) が6割台半ばで最も高い。
- 「ボランティア情報の入手しやすさ」(57.4%) が5割台半ばで次いでいる。

【分析】

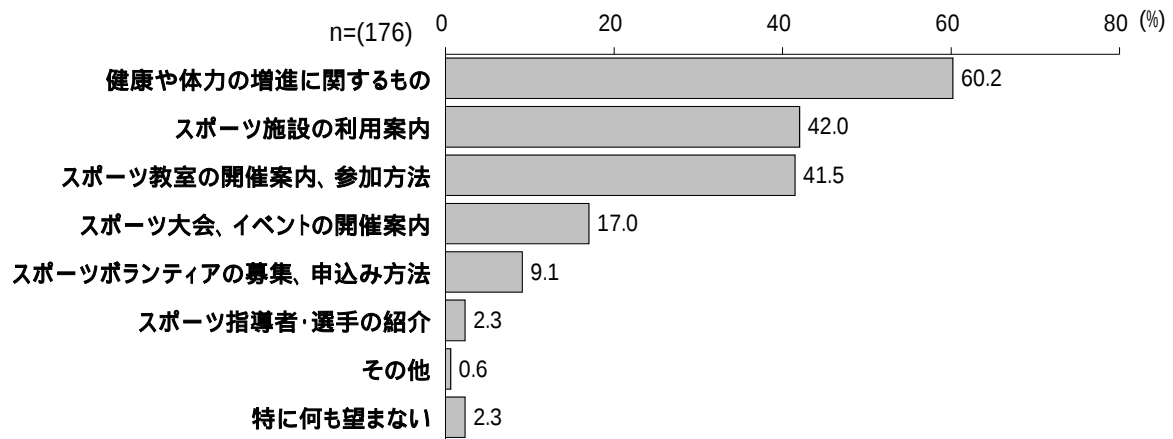
- ボランティア活動を始める第一歩として、気軽に参加できる機会や情報の入手が重要であるが、これまでボランティアに関する積極的な情報提供は出来ていない。
- ボランティアの養成、研修会を実施しているが、必ずしもボランティア活動の増加につながっているとは限らない。

【課題・方向性】

- 気軽にボランティア活動ができるように、各種スポーツイベントでの関わり方や受入れ体制を整備し、人員募集や活動状況の公表など、積極的に情報提供をしていく。
- 既存の生涯スポーツボランティア制度をさらに活用し、ボランティア養成や講座等を通して、継続した活動ができる仕組みを作り、区民にボランティア文化を定着させていく。
- 関係団体やスポーツ施策面において、今後のボランティア需要と供給について調査していく必要がある。

(13) 運動・スポーツに関する情報について希望する内容

問8 あなたは、運動・スポーツに関する情報について、何を望みますか（○は2つまで）。



【集計結果】

- 「健康や体力の増進に関するもの」(60.2%) が6割で最も高い。
- 「スポーツ施設の利用案内」(42.0%)、「スポーツ教室の開催案内、参加方法」(41.5%) が4割強となっている。

【分析】

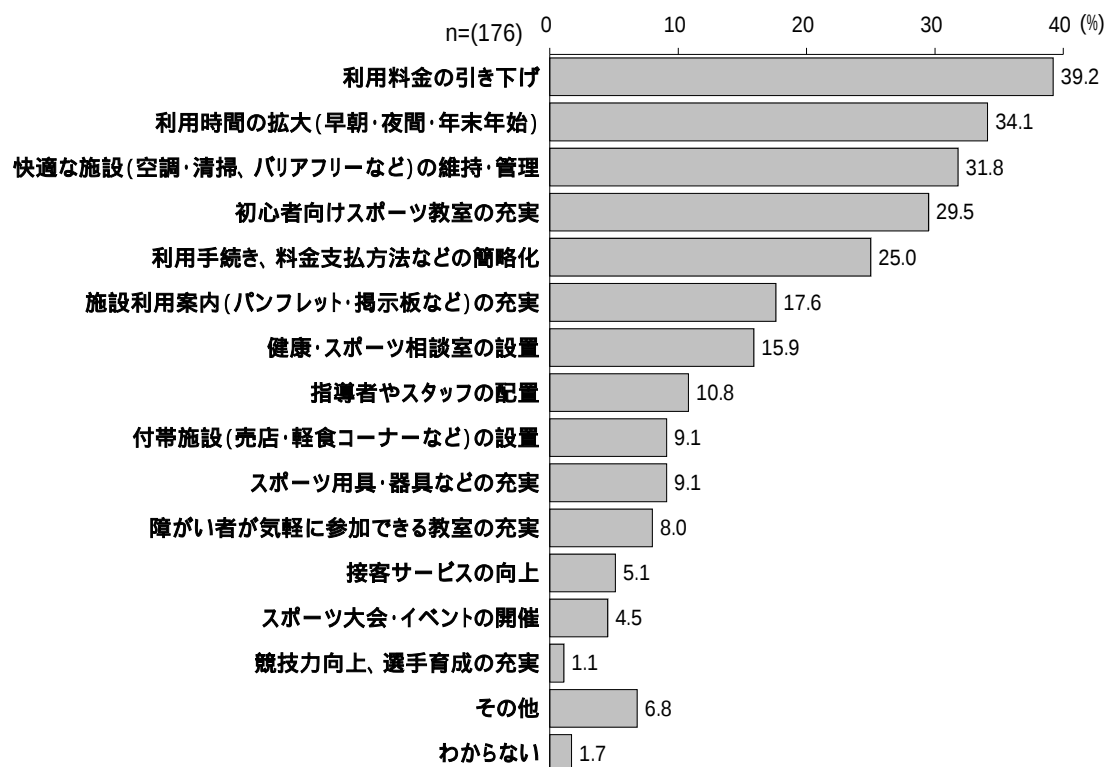
- 区民の健康や体力増進への意識の高まりは、今後の生涯スポーツ振興施策の推進に重要なポイントになる。
- イベント等での短期的な機会よりも、普段から定期的に運動・スポーツに取り組むための情報を希望する方が多い。

【課題・方向性】

- 運動・スポーツの効果や施設、教室の案内など、パンフレットやチラシ、区HP・SNS・広報、テレビ、雑誌、民間業者などあらゆる媒体を活用した啓発を、継続的に提供していくことが必要である。
- 施設の利用方法やスポーツ教室の開催案内など、対象に合わせた情報提供ができる環境を整備していく。

(14) 区の運営するスポーツ施設についての要望

問9 あなたは、区の運営するスポーツ施設について何を望みますか（○は3つまで）。



【集計結果】

- 「利用料金の引き下げ」(39.2%) が4割近くで最も高い。
- 「利用時間の拡大(早朝・夜間・年末年始)」「快適な施設(空調・清掃、バリアフリーなど)の維持・管理」(31.8%) が3割台となっている。

【分析】

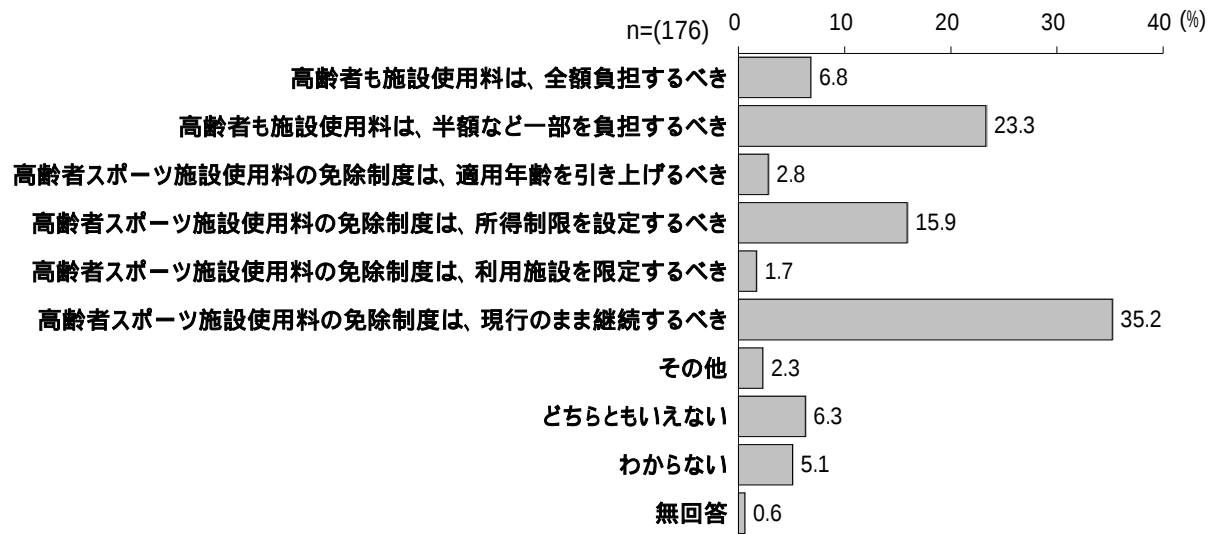
- 「料金引き下げ」や「利用時間拡大」の要望は、各スポーツ施設の窓口でも多く意見が寄せられている。
- 「快適な施設運営」や「各種教室の充実」「手続きの簡略化」などは、施設利用者の要望と考えられる。
- 障がい者関連の項目として、障がい者が気軽に参加できるスポーツ教室の充実はポイントが少ないが、施設のバリアフリーについての要望はポイントが高くなっている。

【課題・方向性】

- 利用料金は、平成26年10月より新料金を適用している。今後もおおむね4年に一度見直しを行い、実情に合った料金設定をしていく。
- 施設運営に対する要望は、施設長会議にて報告し、定期的に評価・検証していく。
- 障がい者がソフト・ハード両面で快適な施設利用ができるように、今後さらに調査・研究していく。

(15) 高齢者スポーツ施設使用料の免除制度についての考え

問10 高齢者スポーツ施設使用料の免除制度について、あなたの考えに最も近いものはどれですか（○は1つだけ）。



【集計結果】

- 「高齢者スポーツ施設使用料の免除制度は、現行のまま継続すべき」(35.2%) が3割台半ばで最も高い。
- 「高齢者も施設使用料は、半額など一部を負担すべき」(23.3%) が2割を超えている。
- 「高齢者スポーツ施設使用料の免除制度は、所得制限を設定すべき」(15.9%) は、1割台半ばとなっている。

【分析】

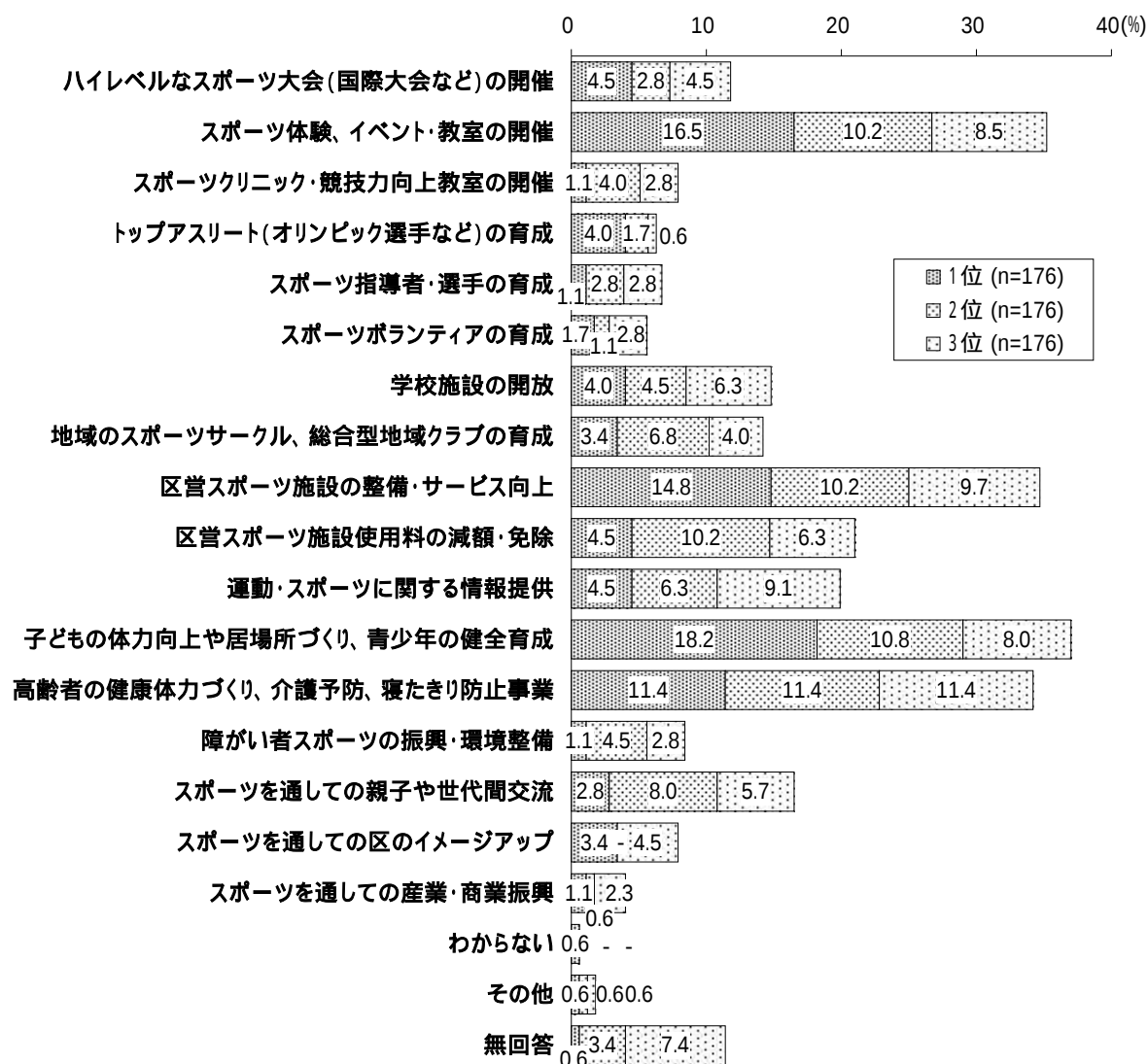
- 使用料の免除制度は、「現行継続」とする方が最も多かったが、「半額など一部負担」「全額負担」「所得制限を設定して負担」を加えると、半数近く(46%)の方は、高齢者でも負担すべきであると考えている。
- 他に「適用年齢の引き上げ」や「利用施設の限定」など、高齢者の免除制度に対する意見は多岐にわたっている。

【課題・方向性】

- 区老年人口(65歳以上)は、総合スポーツセンター開設当時(昭和54年)と比べ、約5倍(約161,105人)に増加し、区人口の24.7%を占めている(平成27年4月現在)。
- 高齢化が進展する中で、快適なスポーツ施設を維持するため、高齢者への施設使用料の一定負担を検討していく必要がある。

(16) 区で行う生涯スポーツの振興について力を入れてほしいこと

問11 あなたは、区で行う生涯スポーツの振興について、どのような点に力を入れてほしいと思いますか。次の中から3つまで選び、1位・2位・3位と順位をつけて の中に番号を記入してください。



【集計結果】

- 1位として多くあげられたものは、「子どもの体力向上や居場所づくり、青少年の健全育成」(18.2%)、「スポーツ体験、イベント・教室の開催」(16.5%)、「区営スポーツ施設の整備・サービス向上」(14.8%)、「高齢者の健康体力づくり、介護予防、寝たきり防止事業」(11.4%)等である。
- 3位までを含め全体として多くあげられたものは、「子どもの体力向上や居場所づくり、青少年の健全育成」(37.0%)、「スポーツ体験、イベント・教室の開催」(35.2%)、「区営スポーツ施設の整備・サービス向上」(34.7%)、「高齢者の健康体力づくり、介護予防、寝たきり防止事業」(34.2%)が3割台となっている。

【分析】

- 生涯スポーツ振興について、1位からの順位と全体の順位もほぼ同じ結果だった。
- 障がい者スポーツ、世代間交流、区イメージアップは、ポイントは低いが区の重点事業、大事なコンセプトとして位置づけられる。

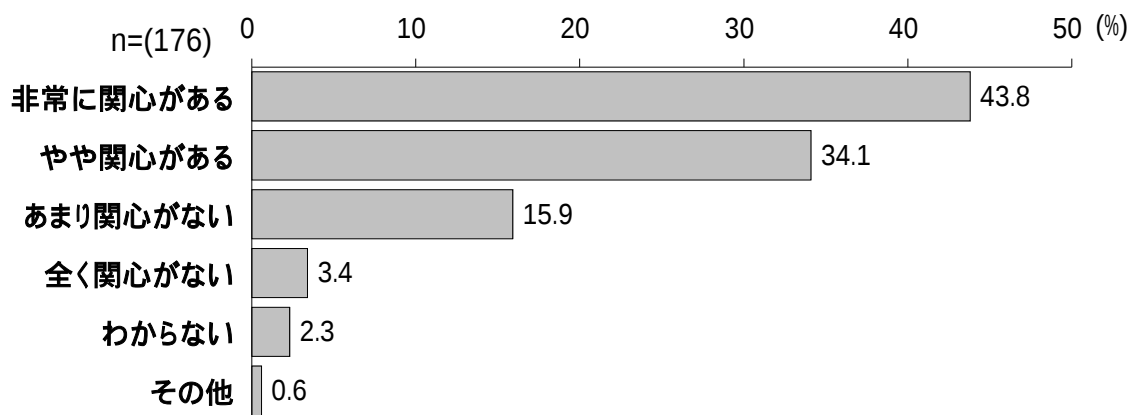
【課題・方向性】

- 子ども・青少年、高齢者に向けた事業については、長期的な視点に立ち計画を具体化し、実施にあたっては、関係所管との連携が必要となる。
- スポーツ施設は、老朽化に伴う改修、使用料の見直しについて優先順位を決め、計画的に整備を進めていく必要がある。
- 施設運営において、区民の意見を幅広く取り入れるなど、区民参加型によるサービス向上・施設の運営を今後も目指していく。
- 障がい者スポーツの振興や世代間交流については、だれもが生涯にわたって運動・スポーツに取り組める環境づくりに向けて、調査・研究を進めていく必要がある。

【2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会】

(17) 2020年東京オリンピック・パラリンピックの関心度

問13 あなたは、2020年東京オリンピック・パラリンピックに関心がありますか（○は1つだけ）



【集計結果】

- 「非常に関心がある」(43.8%) が4割台半ば、「やや関心がある」(34.1%) が3割台半ばとなっており、それらを合わせた、関心がある(77.9%) は8割近くとなっている。
- 「全く関心がない」(3.4%)、「あまり関心がない」(15.9%) を合わせた、関心がない(19.3%) は2割近くとなっている。

【分析】

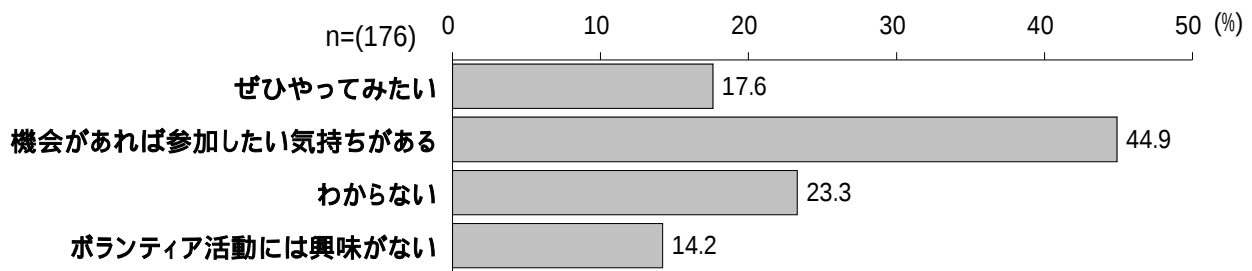
- 約8割の区民が関心を寄せており、大会開催に向けた気運や期待感が高まっている。

【課題・方向性】

- 区民の健康づくりやスポーツ振興の好機と捉え、大会開催後のレガシーも含めた多様な施策を検討していく。
- 区独自の取組みとして、関係所管をはじめ地域や関係団体、民間事業者などと連携・協働し、具体化していく必要がある。

(18) 2020年東京オリンピック・パラリンピックでのボランティア活動の意向

問14 あなたは、2020年東京オリンピック・パラリンピックでボランティア活動をしたいと思いませんか（○は1つだけ）。



【集計結果】

- 「ぜひやってみたい」(17.6%) 区民は1割台半ばである。
- 「機会があれば参加したい気持ちがある」(44.9%) が4割台半ばとなっており、「ぜひやってみたい」方々と合わせると、区民の6割は参加への意向がみられる。

【分析】

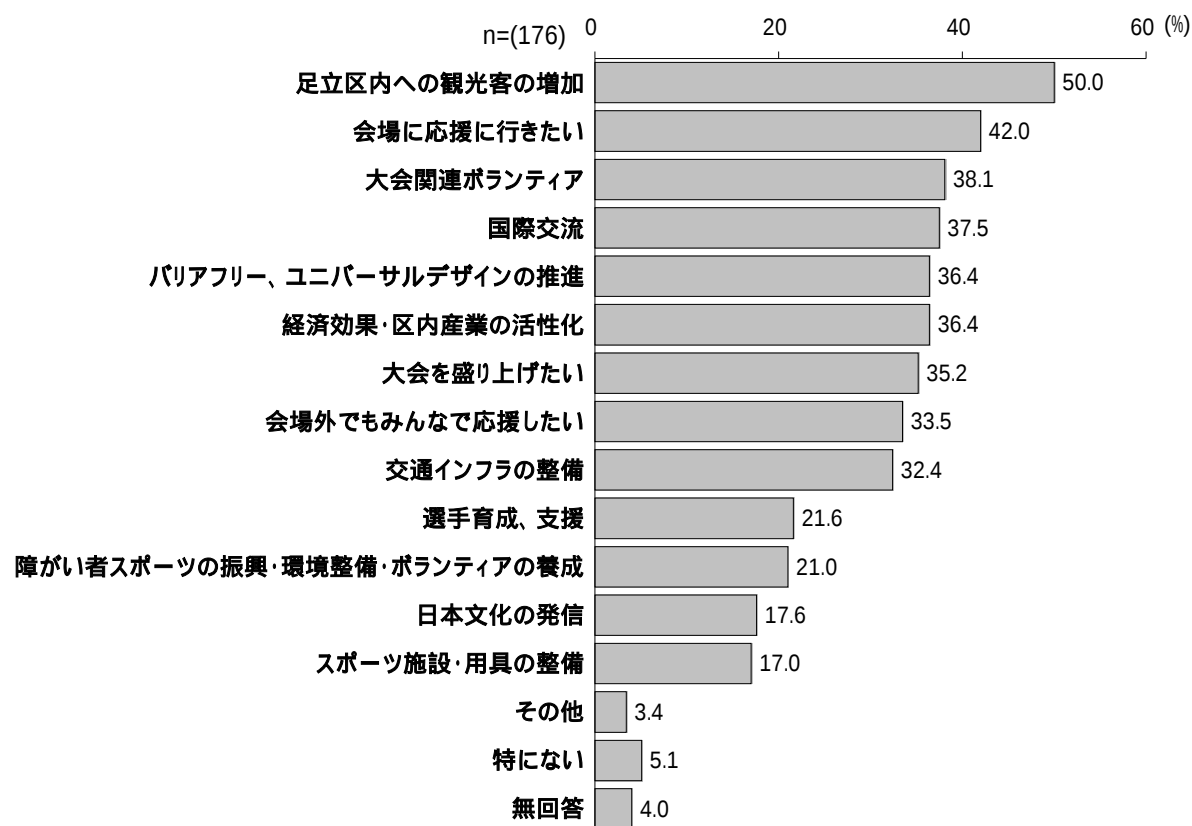
- 区公認スポーツ指導員（27種目総数410名）及び区公認スポーツサポーター（92名）の養成講習会を毎年開催している。（どちらも平成27年4月1日現在の登録者数）
- 区共催のタートルマラソン国際大会では、区公認スポーツサポーターはもちろん、体育協会、スポーツ推進委員会、区内中・高生など毎年約700人のボランティアが参加している。
- 東京国体（平成25年度開催）では、大会運営や歓迎装飾など延べ1,000人以上のボランティアが活動した。

【課題・方向性】

- 東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会や東京都で検討している、大会運営や観光で訪れる外国人へのおもてなしボランティア、おもてなし親善大使（中高生対象）の養成等の動向を注視しながら、区のボランティア養成について独自に検討・計画していく必要がある。

(19) 2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて区の実施に期待すること

問15 あなたは、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて、区の実施に期待することは何ですか（○はあてはまるものすべて）



【集計結果】

- 「足立区内への観光客の増加」(50.0%) が5割と最も多い。
- 「会場に応援に行きたい」(42.0%) が4割強を占める。
- 3割台では、「大会関連ボランティア」(38.1%)、「国際交流」(37.5%)、「バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進」、「経済効果・区内産業の活性化」(ともに36.4%)、「大会を盛り上げたい」(35.2%)、「会場外でもみんなで応援したい」(33.5%)、「交通インフラの整備」(32.4%)が挙げられる。

【分析】

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に、ボランティアや国際交流等様々な形で「参加したい」と考える区民が多い。
- 国際競技大会やスポーツイベントの開催に合わせて、外国人を含めた区外からの観光客が単発的に増える可能性があり、区の観光・経済等の活性化に寄与する取り組みが期待されている。
- 1964年東京大会にならい、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会においても、経済効果や交通インフラの整備など区の様々な環境の抜本的な解決が期待されている。

【課題・方向性】

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、今後様々なニーズにどう応えていくか、また大会後のレガシーとして何を残せるかを具体的に検討していく必要がある。
- 区民の「参加したい」意欲の高まりや区への期待を、産学官一体となった「オール足立」として取り組む体制づくりが必要である。
- 各スポーツ大会を通して、観光客の誘致や地域の活性化につなげ、区のイメージアップになる事業戦略を、地域や関係団体等と検討し気運の醸成、生涯スポーツの活性化に繋げていく必要がある。

【自由意見】

(20) 自由意見

問12 足立区の生涯スポーツ振興について、ご意見、ご要望がありましたらお聞かせください
(自由意見)

寄せられたご意見・ご要望を抜粋して掲載します。

【施策】

- 高齢者から幼児まで、各年齢層に合った区独自の新体操を創造し普及させる。
- スポーツといえば競技性があり、順位、記録などの個人成績、地域の名譽を目指すという性格が感じられますが、健康を第一とした目的での運動の振興をめざすべきであり、その目的に沿った施策に力を入れてほしい。
- 足立区は、人口が多いので世代別に、足立区が推奨するスポーツを決めてみる。
(例) 10代、20代：チームプレイのフットサル 30代、40代：運動不足のアスレチックゲーム 50代、60代：体力づくりのマラソン 70代、80代：ボケ防止の脳トレーニングなど 生涯スポーツしても苦にならない仕組みやサービスを、足立区の特色にしていかがでしょうか。
- 舎人公園や東保木間の運動場など大規模な運動場に直行するコミュニティバスを定期的に運行し、参加者の足を確保する。
- 生涯スポーツにおける足立区の振興計画の策定についての取組みは、現状のままで充分かと思います。私自身を振り返りますと、定年になるまで生涯スポーツの何たるかも考えずに日々を過ごし、体力の衰えを感じ始めて、やっとスポーツでもしようと思い立った次第です。しかし、いざとなると思考能力、体力の限界等、行動範囲がすべて狭まり、自己能力の範囲内の小さなものばかりとなってしまいました。健全な思考能力、肉体の保持が可能限界な年齢になる前に、真剣に生涯スポーツについて考えるべきであったと思います。

【施設、場所】

- 区のスポーツセンターの増設。北千住などに区のスポーツセンターを作してほしい。それで子供や大人のスポーツ教室をやってほしい。
- 体験スポーツ等、いつでも出来る様にしてほしい。
- 足立区のスポーツ教室や大会に参加したことがないので詳しくは分かりませんが、健常者だけではなく障がい者の方も積極的にスポーツ活動ができる場を設けてほしい。以前横浜の障がい者向けスポーツ施設に行った際は、たくさんの方がのびのびとスポーツをしていました。
- 学校施設など休眠施設を、区民向けにより自由に活用できないでしょうか。
- テニスをやりたいのですが、テニスコートがなかなか予約できません。室内設備のテニスコートなどがあるとすごく嬉しいです。
- シニアは朝が早い(強い)ので、早い時間から利用できる施設が増えてほしい。
- 夜間の施設開放を積極的に行って欲しい。(通勤で平日昼間は不在なので)
- 仕事をしているとなかなか区営のスポーツ施設の利用時間に間に合わないで、遅くまで営業してくれると助かります。

- 子供達の運動能力低下の原因の一つに安心して運動できる場所が少ないことがあると思います。低価格で気軽に行える区営の施設をもっと増やしてほしいです。親世代の運動やスポーツは、子供と一緒にだとハードルが低くなるので、そのような親子で楽しめるスポーツ施設が増えてくれると嬉しいです。
- 子供向けの体力作りの場がもっと増えるといいと思う。
- 子供たちがもっと思い切り運動できるように、学校の開放などしてほしい。もっと安全な場所で遊びたいはずです。

【イベント・教室】

- 高齢者や障がい者のアスリートを招待し、イベントを開催する。
- 近隣施設（学校や公園）などで、気軽に参加出来るイベントがあれば参加しやすい。
- 平日、日中のイベントを実施してほしい。初心者教室、体験教室など参加しやすい教室を。
- スポーツのイベントやスポーツ関連の地元企業の商品など、足立区ならではの産業にもつながれば良いと思う。
- 運動、スポーツを通して、認知症が予防できるような企画や取組みをたくさん進めてほしい。
- 一過性ではなく、長続きするためにも、気軽に参加が出来ることが大切だと思いますので、地域住民単位でのイベントなどの充実が必要かと思います。
- 荒川土手のマラソン大会は継続すればいいと思います。
- ウォーキング大会の開催
- 障がい者が気軽に参加できるスポーツイベントの開催にも力を入れてもらいたいと思います。特に障がい者の中でも身体に障がいがある人や精神に病気がある人達など様々であるが、こういった人々が家に閉じこもるいわゆる「引きこもり」の状況を防ぐための取組として、スポーツを通じて多くの人々とふれあえるイベントの運営にボランティア活動の参加を呼びかけることが大切だと感じております。

【PR、広報活動】

- 生涯スポーツ振興の実態がよく伝わってこないような気がします。それをもっと区民に伝えるよう行ってほしいです。
- 足立区総合スポーツセンターをもっともっとPRし、利用するように促し、介護保険等に頼ることのないような政策にされては如何かと思います。
- 特に足立区は糖尿病やメタボが多いため、あらゆるスポーツの推進と食事と運動に関する資料（わかりやすい物）を出す事によって、生活習慣病に掛からないためのPRをお願いします。
- 高齢者のスポーツ施設使用料無料について知りませんでした。病院などにポスターを貼るなどして、もっと宣伝が必要なのではないでしょうか。利用率はわかりませんが、同じ人ばかり使っているのであれば不公平だと思います。無料が良いのかどうかはわかりませんが、せっかく無料ならばたくさんの人に利用してもらいたいです。
- 区民の認知度が低すぎるので、もっと広報活動したほうが良い。

【気軽に参加しやすいスポーツ環境】

- だれでも気軽に参加できるスポーツ振興を心から望みます。
- 「だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる」という事なので、足立区などが開催する行事（例えば「あだち区民まつり〔A-Festaフェスタ〕など）で、ちょっとしたスペースで皆が参加できるスポーツなどができれば良いと思います。

- 障がい者スポーツの充実（環境の整備・バリアフリー・パラリンピック選手の育成）。理由は、健常者に比べると障がい者スポーツの分野はまだまだ遅れているためである。高齢者の介護予防としてのスポーツの充実（寝たきり予防、体力作り）：高齢者施設（特養・老健・デイサービス）などや病院でも気軽にだれでも行えるものを広める。
- あだちの広報紙などで、各施設のスポーツ案内を見かけます。多くは子ども（親子）対象になっているように感じます。大人向けの案内は参加する人はいつも決まっているようで、1人で参加するのは勇気が要ります。
- だれでも参加できるとありますが、施設は仲間のたまり場みたいになっていて、すごく使用しづらい。足が遠のきます。
- 土日に関係なくもっと気軽に参加できるスポーツの機会が充実してほしい。小学生以下の子供でも、見守りながら一緒に施設に連れて行けるようになると良い（現状、良かったとしても連れて行けるのかどうか分からない）。
- 仕事をしている世代は時間が取りづらい。子育て中の母が自由にスポーツ出来る環境があれば楽しめると思う。
- 年配の人々の場合は、いつでも自由にスポーツを（身体を動かす事）を楽しめる事が必要だと思います。子供達の体力向上や居場所作り、青少年の健全育成はとても重要な事だと思います。それには周囲がスポーツしやすい環境を作ってあげることが必要だと思います。のびのびとした中でスポーツをさせてあげる事は、今の時代では大変な事とは思いますが、絶対に必要な事だと思います。
- 野球、サッカー、テニス、水泳等のグラウンド、コート、屋内プール毎にスポーツ団の形成（ヨーロッパのスポーツ団をイメージしています）して、子供から大人まで参加や応援できるクラブを作ってもらいたい。コーチは、民間スクールや有資格者に委託する。
- 女性の場合、更年期を過ぎるとコレステロール値が高くなり、骨密度も減る。それをカバーするのは食生活と運動である。各自治体が予防医学の観点から健康管理を広く進めるためにも、健康増進のための環境施設の充実をこれまで以上に進めてほしい。
- 公営のテニスコートは、有料でのコーチによる指導を禁止しているが、2時間2,000円など上限を決めて開放してもらいたい。利用者としては、コーチに指導してもらいたい時もあります。また、コーチは区の登録制にして初心者、中級者以上とクラス別にレッスンする事を義務づける。

【個人の費用負担】

- 事業を行うには、「人・物・金」がかかるので参加者に応分の負担を求めることは必要である。各個人に負担の意識がないと、おざなりになる。
- 生涯学習として、施設使用料を無料か半額にして欲しい。太極拳のサークル活動をしているが、毎月の支払いが苦しいです。
- 予防医学の観点からは、60歳以前からの取り組みも進めてほしい。たくさんの人達が参加するためにも個人負担はできるだけ軽くした方がいいと思う。
- 高齢者だけでなく、他区で実施しているように足立区住民ならば施設利用に割引料金適用を検討してほしい。

【その他】

- スポーツセンターのスタッフは、もっと色々勉強してほしい。また、スタッフの中には、年配の人が多いため、もっと若い人に変えてほしい。
- 私は、区が運営している施設について特に望むこととしては、接客サービスの向上である。現在スポーツ施設は、若年者から高齢者の方々まで幅広く利用されている。スタッフが

お客様とさらにコミュニケーションをとることで、今後の施設の充実につなげられるのではないかと考えている。

- 青少年の健全育成にもスポーツは良い影響を与えと思うが、青少年スポーツの現場では、最近体罰がしばしば問題になっているため、指導者に対する体罰防止の研修会を開く。
- スポーツボランティアに関して、説明会でボランティアに説明する必要があると思いますが、国体のプレで参加した時、なかなか説明会の日時が合わなくて、調整するのが大変だったことがあります。説明会などがめんどくさく感じてしまいました。主催者側の指示があいまいであったり、やる気がないように感じることもあり、特に裏方（ゴミ集めなど）のボランティアの方々からは「ヒマな時間がありすぎた。」と言う声も聞きました。ボランティアに必要な人数を割り当てる事など、考えて頂きたい。「またボランティアをやりたい」という気持ちにできるようにして欲しいと思います。
- 施設へ行ってスポーツをすると時間の制限があり、自由な時間があまりない人には行くことができない。家や一人でもできる手軽な運動（散歩、ウォーキング、ラジオ体操等）であれば長続きしてできるので、続けて実行したい。
- 精神的にもスポーツはとても良いと思います。スポーツというよりももっと気軽にできることを探していきたいです。
- 高齢者の独居老人と小中学校の生徒との交流を進める（定期交流、イベントの実行）。
- 区民として協力できることがあれば、何でもやります！

■ 使用した調査票・回答比率

モニター番号

番

(必ず記入してください。)

平成 2 6 年度 第 2 回 区政モニターアンケート

《スポーツで住み続けたいまちづくりに向けて》

運動・スポーツ活動の目的は、健康維持・増進や仲間づくり、気分転換など実に様々です。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、今後は、東京都をはじめ、国や近隣県、民間企業なども含め開催準備が加速していきます。

こうした中、足立区ではスポーツを通して区民の「健康寿命」をいかに延ばすか、また、区民生活の質の向上や地域の絆づくりに、スポーツがどう貢献できるかを課題として、第三次「足立区生涯スポーツ振興計画」の策定に向けて取り組んでいます。(平成29年策定予定)

計画の策定にあたっては、区政モニターや世論調査等を実施するとともに、各スポーツ関係団体の方々からも、ご意見を頂戴したいと考えています。

区政モニターの皆さまには、このアンケートの実施にご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

問 1 あなたは日頃から、散歩やウォーキングを含めてどの程度運動・スポーツを行っていますか（○は1つだけ） n=176

1. 30分以上の運動を週2回以上	23.3%	→ 問1-1へ お進みください
2. 週2回以上（時間は問わない）	15.3	
3. 週1回程度（時間は問わない）	14.8	
4. 月1回から3回程度（時間は問わない）	9.7	
5. 年に数回（1回を含む、時間は問わない）	8.5	→ 問1-2へ お進みください
6. 運動・スポーツは特にしていない	12.5	
7. とりたてて特別な運動はしていないが努めて 身体を動かす習慣、意欲を持っている （買い物は歩く、エレベーターは使わないなど）	15.3	
無回答	0.6	

（問1で「1.」から「4.」のいずれかに○を付けた方に）

問 1-1 あなたがこの1年間に行った主な運動・スポーツは何ですか（○はあてはまるものすべて） n=111

1. 野球・ソフトボール	1.8%	14. 登山・ハイキング	10.8
2. バスケットボール	-	15. ボウリング	9.0
3. バレーボール	-	16. サイクリング	18.9
4. サッカー・フットサル	3.6	17. ダンス	10.8
5. テニス	4.5	18. 武道（柔道・剣道・空手など）	-
6. バドミントン	2.7	19. 太極拳・ヨガ	8.1
7. 卓球	4.5	20. スキー・スノーボード・スケート	4.5
8. 陸上競技	1.8	21. ウォーキング	51.4
9. 健康体操（エアロビクス・ リズム体操・ストレッチなど）	30.6	22. ジョギング・マラソン	14.4
10. ラジオ体操	29.7	23. ビーチボールバレー（室内）	2.7
11. 水泳	14.4	24. ファミリーテニス	-
12. 水中運動（ウォーキング・ エクササイズなど）	9.0	25. ゲートボール・グラウンドゴルフ	3.6
13. ゴルフ	4.5	26. 筋力トレーニング	14.4
		27. その他（種目_____）	8.1
		無回答	0.9

問１で「５．年に数回」、「６．運動・スポーツは特にしていない」または「７．努めて身体を動かす習慣、意欲を持っている」とお答えの方は、次の問１-２、問１-３について、お答えください。

問１-２ あなたが、この１年間に運動・スポーツをほとんど行わなかった理由は何ですか（○はあてはまるものすべて） n=64

１．忙しくて時間がない	42.2%	７．お金がかかる	26.6
２．体力に自信がない	17.2	８．指導者（教えてくれる人）がいない	3.1
３．体が弱い	12.5	９．機会がない	34.4
４．運動・スポーツは好きではない	15.6	１０．関心がない	15.6
		１１．仕事や家事で疲れている	48.4
５．仲間がいない	17.2	１２．わからない	1.6
６．身近なところに場所や施設がない	9.4	１３．その他（具体的に_____）	12.5
		無回答	1.6

問１-３ あなたが、今後行いたい運動・スポーツは何ですか（○はあてはまるものすべて） n=64

１．野球・ソフトボール	1.6%	１４．登山・ハイキング	23.4
２．バスケットボール	3.1	１５．ボウリング	12.5
３．バレーボール	1.6	１６．サイクリング	10.9
４．サッカー・フットサル	3.1	１７．ダンス	7.8
５．テニス	9.4	１８．武道（柔道・剣道・空手など）	6.3
６．バドミントン	20.3	１９．太極拳・ヨガ	26.6
７．卓球	10.9	２０．スキー・スノーボード・スケート	9.4
８．陸上競技	-	２１．ウォーキング	29.7
９．健康体操（エアロビクス・操 リズム体・ストレッチなど）	28.1	２２．ジョギング・マラソン	4.7
１０．ラジオ体操	18.8	２３．ビーチボールバレー（室内）	3.1
１１．水泳	28.1	２４．ファミリーテニス	3.1
１２．水中運動（ウォーキング・ エクササイズなど）	10.9	２５．ゲートボール・グラウンドゴルフ	1.6
１３．ゴルフ	4.7	２６．筋力トレーニング	15.6
		２７．わからない	6.3
		２８．その他（種目_____）	9.4
		無回答	3.1

ここから再び、すべての方にお伺いいたします。

問2 あなたは、健康維持・増進のために最も効果的と思うことは何ですか（○はあてはまるものすべて） n=176

1. 体を動かすこと（運動・スポーツ、体操・散歩など）	89.8%
2. バランスのとれた食事（新鮮野菜をとる・食品添加物を避けるなど）	86.4
3. ストレスをためない	71.0
4. しっかり睡眠をとる	77.8
5. 趣味や娯楽を楽しむ	55.7
6. 仲間との会話や交流	47.2
7. タバコを吸わない	58.0
8. 深酒をしない	51.7
9. 規則正しい生活（早寝・早起き・入浴）	68.2
10. 定期的に健康診断を受ける	56.8
11. 健康補助食品をとる（ビタミン・サプリメントなど）	10.2
12. わからない	-
13. その他（具体的に_____）	0.6

問3 あなたは、運動・スポーツから、どのような効果を期待しますか。運動・スポーツを行っていない方もお答えください（○は3つまで） n=176

1. 健康・体力づくり	90.9%
2. 自己記録や技能の向上（筋力や持久力、技術など）	12.5
3. 食事がおいしくとれる	29.5
4. 睡眠がしっかりとれる	30.1
5. 楽しみ、気晴らし、ストレス解消になる	42.0
6. ダイエット効果・生活習慣病予防（高血圧・脂質異常症・糖尿病など）	25.6
7. 美容のため	4.0
8. 持病や体質の改善・身体機能の維持（リハビリ）	13.1
9. 生きがいづくり	6.3
10. 出会い・仲間づくり	14.2
11. 地域との交流	5.1
12. 家族とのコミュニケーション	2.3
13. 精神の修養（忍耐力・規律・フェアプレー精神などの向上）	2.3
14. 期待できない	-
15. わからない	0.6
16. その他（具体的に_____）	0.6

問 4 あなたは、この 1 年間に、地域で行われた運動やスポーツを行う機会に参加しましたか
(○は1つだけ) n=176

1 . あ る 29.5%	2 . な い 65.9	問 4 - 2 へ
	無回答 4.5	

(問 4 で「1 . ある」とお答えの方に)

問 4 - 1 運動・スポーツを行う機会に参加した理由は何ですか(○はあてはまるものすべて) n=52

1 . 健康・体力づくりのため	75.0%
2 . 自己記録や技能の向上(筋力や持久力、技術など)	28.8
3 . 食事がおいしくとれる	26.9
4 . 睡眠がしっかりとれる	25.0
5 . 楽しみ、気晴らし、ストレス解消になる	61.5
6 . ダイエット効果・生活習慣病予防(高血圧・脂質異常症・糖尿病など)	28.8
7 . 美容のため	9.6
8 . 持病や体質の改善・身体機能の維持(リハビリ)	17.3
9 . 生きがいづくり	30.8
10 . 出会い・仲間づくり	40.4
11 . 地域との交流	51.9
12 . 参加者同士のコミュニケーション	42.3
13 . 精神の修養(忍耐力・規律・フェアプレー精神などの向上)	13.5
14 . 特に理由はない	-
15 . わからない	-
16 . その他(具体的に_____)	3.8

(問 4 で「2 . ない」とお答えの方に) ←

問 4 - 2 運動・スポーツを行う機会に参加しなかった理由は何ですか(○はあてはまるものすべて) n=116

1 . 忙しくて時間がないから	40.5%	5 . 病気をしたから、体が弱いから	8.6%
2 . 仲間がいないから	15.5	6 . 特に理由はない	24.1
3 . 運動・スポーツは好きではないから	12.1	7 . その他(具体的に_____)	19.0
4 . お金がかかるから	5.2	無回答	0.9

ここから再び、すべての方にお伺いいたします。

問5 あなたは、どのような機会や場所で運動・スポーツをしたいと思っていますか（○は3つまで） n=176

1. 自然の中で、運動やスポーツをしたい	48.9%
2. 近くの公園などを利用して運動したい	47.2
3. 自分の家の中でできる運動をしたい	33.5
4. 区のスポーツ施設を利用して運動したい	53.4
5. 学校の体育施設を利用して運動したい	9.1
6. 民間のスポーツクラブに加入して運動したい	10.2
7. 地域や職場のスポーツクラブやサークルに加入して運動したい	8.5
8. スポーツ教室に参加して運動したい	8.0
9. スポーツテストや体力測定に参加したい	6.8
10. 運動会やスポーツの大会に参加して運動したい	1.7
11. できない、したくない（理由_____）	3.4
12. その他（具体的に_____）	2.8

問6 あなたは、運動・スポーツのボランティア活動として何ができると考えていますか（○は3つまで） n=176

1. イベント・大会、スポーツ教室などの運営補助	39.2%
2. イベント・大会などの語学ボランティア	8.0
3. 指導者・審判	4.5
4. 総合型地域クラブ（ ）などの運営補助	13.6
5. 体育協会、スポーツ関係団体の事業運営補助	13.6
6. 高齢者、障がい者などの送迎ボランティア	8.0
7. 学校や公園、運動場などで遊ぶ子どもたちの見守り	35.2
8. 高齢者の引きこもり対策（一人住まいの高齢者への挨拶、見回りなど）	20.5
9. 学校や公園、運動場などの清掃活動	29.0
10. 地域行事などの運営補助	29.5
11. できない、したくない（理由_____）	12.5
12. その他（具体的に_____）	1.1

総合型地域クラブとは、学校などの身近な施設で地域住民の自主運営により、地域の特性を生かしたさまざまなスポーツ活動を展開し、より良いまちづくりを目指すものをいいます。

問7 あなたは、運動・スポーツに関するボランティアをするためには、どのようなことが重要だと思いますか（○は3つまで） n=176

1. ボランティア情報の入手しやすさ	57.4%
2. 気軽に参加できる機会の充実	65.3
3. 自由に使える時間の確保	33.0
4. 家族の協力・応援	14.2
5. 自分の能力を活かす活動内容	12.5
6. イベント・大会の魅力向上	16.5
7. 記念品などがもらえる	9.7
8. 選手や他のボランティアとの交流	9.7
9. ボランティアの養成、研修会の充実	21.6
10. わからない	2.3
11. その他（具体的に_____）	4.0
無回答	0.6

問8 あなたは、運動・スポーツに関する情報について、何を望みますか（○は2つまで） n=176

1. 健康や体力の増進に関するもの	60.2%
2. スポーツ施設の利用案内	42.0
3. スポーツ教室の開催案内、参加方法	41.5
4. スポーツ大会、イベントの開催案内	17.0
5. スポーツ指導者・選手の紹介	2.3
6. スポーツボランティアの募集、申込み方法	9.1
7. 特に何も望まない	2.3
8. その他（具体的に_____）	0.6

問9 あなたは、区の運営するスポーツ施設について何を望みますか（○は3つまで） n=176

1. 利用時間の拡大（早朝・夜間・年末年始）	34.1%
2. 利用料金の引き下げ	39.2
3. 快適な施設（空調・清掃、バリアフリーなど）の維持・管理	31.8
4. 付帯施設（売店・軽食コーナーなど）の設置	9.1
5. 健康・スポーツ相談室の設置	15.9
6. 利用手続き、料金支払方法などの簡略化	25.0
7. 指導者やスタッフの配置	10.8
8. 施設利用案内（パンフレット・掲示板など）の充実	17.6
9. 初心者向けスポーツ教室の充実	29.5
10. 競技力向上、選手育成の充実	1.1
11. 障がい者が気軽に参加できる教室の充実	8.0
12. スポーツ大会・イベントの開催	4.5
13. スポーツ用具・器具などの充実	9.1
14. 接客サービスの向上	5.1
15. わからない	1.7
16. その他（具体的に_____）	6.8

問10 高齢者スポーツ施設使用料の免除制度について、あなたの考えに最も近いものはどれですか（○は1つだけ）

温水プールは65歳以上、その他のスポーツ施設は70歳以上の高齢者（足立区民）は無料で使用できます。（いきいきフリーパス）

n=176

1. 高齢者も施設使用料は、全額負担すべき	6.8%
2. 高齢者も施設使用料は、半額など一部を負担すべき	23.3
3. 高齢者スポーツ施設使用料の免除制度は、適用年齢を引き上げるべき（例.75歳以上無料）	2.8
4. 高齢者スポーツ施設使用料の免除制度は、所得制限を設定すべき（例.住民税非課税者のみ）	15.9
5. 高齢者スポーツ施設使用料の免除制度は、利用施設を限定すべき（例.温水プールのみ可）	1.7
6. 高齢者スポーツ施設使用料の免除制度は、現行のまま継続すべき	35.2
7. どちらともいえない	6.3
8. わからない	5.1
9. その他（具体的に_____）	2.3
無回答	0.6

問 1 1 あなたは、区で行う生涯スポーツの振興について、どのような点に力を入れてほしいと思いますか。次の中から3つまで選び、1位・2位・3位と順位をつけて の中に番号を記入してください。

《生涯スポーツとは》

その生涯を通じて、健康の保持・増進やレクリエーションを目的に「だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる」スポーツのことをいいます。

n=176

	1 位	2 位	3 位	1 位
大会・イベント・教室				
1. ハイレベルなスポーツ大会（国際大会など）の開催	4.5%	2.8	4.5	
2. スポーツ体験、イベント・教室の開催	16.5	10.2	8.5	
3. スポーツクリニック・競技力向上教室の開催	1.1	4.0	2.8	
人材育成				
4. トップアスリート（オリンピック選手など）の育成	4.0	1.7	0.6	
5. スポーツ指導者・選手の育成	1.1	2.8	2.8	
6. スポーツボランティアの育成	1.7	1.1	2.8	
団体育成				
7. 学校施設の開放	4.0	4.5	6.3	
8. 地域のスポーツサークル、総合型地域クラブの育成	3.4	6.8	4.0	
施設・情報				
9. 区営スポーツ施設の整備・サービス向上	14.8	10.2	9.7	
10. 区営スポーツ施設使用料の減額・免除	4.5	10.2	6.3	
11. 運動・スポーツに関する情報提供	4.5	6.3	9.1	
各世代等への対応				
12. 子どもの体力向上や居場所づくり、青少年の健全育成	18.2	10.8	8.0	
13. 高齢者の健康体力づくり、介護予防、寝たきり防止事業	11.4	11.4	11.4	
14. 障がい者スポーツの振興・環境整備	1.1	4.5	2.8	
15. スポーツを通しての親子や世代間交流	2.8	8.0	5.7	
その他の施策				
16. スポーツを通しての区のイメージアップ	3.4	-	4.5	
17. スポーツを通しての産業・商業振興	1.1	0.6	2.3	
18. わからない	0.6	-	-	
19. その他（具体的に	0.6	0.6	0.6	
無回答	0.6	3.4	7.4	

問 1 2 足立区の生涯スポーツ振興について、ご意見、ご要望がありましたらお聞かせください
(自由意見)。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no text or other markings on the paper.

問13 あなたは、2020年東京オリンピック・パラリンピックに関心がありますか（○は1つだけ）。 n=176

1. 非常に関心がある	43.8%	4. 全く関心がない	3.4
2. やや関心がある	34.1	5. わからない	2.3
3. あまり関心がない	15.9	6. その他（具体的に_____）	0.6

問14 あなたは、2020年東京オリンピック・パラリンピックでボランティア活動をした
いと思いますか（○は1つだけ）。

2020年東京オリンピック・パラリンピックで想定されるボランティアの種類
例：選手や観客の誘導・案内、通訳、警備や記録の補助、チケットの確認、清掃活動など

n=176

1. ぜひやってみたい	17.6%	3. わからない	23.3
2. 機会があれば参加したい気持ちがある	44.9	4. ボランティア活動には興味がない （理由_____）	14.2

問 15 あなたは、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて、区の実施に期待することは何ですか（○はあてはまるものすべて） n=176

応援		交流	
1．会場に応援に行きたい	42.0%	8．国際交流	37.5
2．会場外でもみんなで応援したい （パブリックビューイング）	33.5	〔・選手等の受け入れ（事前キャンプ） ・トップアスリートとの触れ合い ・交流会の開催 ・世界から来るボランティアスタッフの ホームスティ受け入れ〕	9．日本文化の発信（文化プログラムの展開） 17.6
3．大会を盛り上げたい	35.2		
〔・大会内容のPR ・選手の講演会や体験会 ・盛り上げイベントの実施〕			
選手		交通・施設	
4．選手育成、支援	21.6	10．交通インフラの整備	32.4
〔・練習、試合会場の提供 ・活動助成金 ・指導者育成〕		11．スポーツ施設・用具の整備	17.0
ボランティア		観光・経済	
5．大会関連ボランティア	38.1	12．足立区内への観光客の増加	50.0
〔・ボランティアの養成 ・ボランティアとしての参加 ・ボランティア文化の定着〕		〔・観光資源開発・観光客誘致キャンペーン ・飲食店等の禁煙・分煙化推進 ・マナーアップキャンペーン〕	
障がい者		13．経済効果・区内産業の活性化	36.4
6．障がい者スポーツの振興・環境整備 ・ボランティアの養成	21.0	14．特にない	5.1
7．バリアフリー、ユニバーサルデザ インの推進	36.4	15．その他（具体的に_____）	3.4
〔・段差解消などのまちづくり ・案内などの多言語表記〕		無回答	4.0

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。